

# 人 権 意 識 調 査 報 告 書

令和2年3月

北足立郡市町同和対策推進協議会

# 目次

1. 調査の概要 .....	1
1. 調査の目的 .....	1
2. 調査の方法 .....	1
3. 回収結果 .....	1
4. 市町別抽出数 .....	2
5. 報告書の見方 .....	2
2. 回答者の属性 .....	3
3. 調査結果の概要 .....	4
1. 人権全般について .....	4
2. 女性に関する人権について .....	14
3. 子どもに関する人権について .....	18
4. 高齢者に関する人権について .....	22
5. 障害(がい)者に関する人権について .....	26
6. 同和問題について .....	31
7. 外国人に関する人権について .....	47
8. インターネットによる人権侵害について .....	52
9. 人権問題への取組について .....	56
10. 自由記述 .....	58
4. 人権意識調査票 .....	65

# 1. 調査の概要

---

## 1. 調査の目的

人権に関する住民の意識を把握することにより、人権尊重の視点に立った施策を総合的かつ効率的に推進するための基礎資料とし、もって「住民一人ひとりの人権が尊重される社会」が実現することを目的とする。

## 2. 調査の方法

調査対象者	18歳以上の北足立郡内（13市1町）に在住する市町民
対象人数	2,700人
抽出方法	令和元年9月1日現在の住民基本台帳に基づく層化2段階無作為抽出
調査方法	郵送による配布、回収、無記名回答
調査期間	令和元年10月1日から10月31日まで
調査内容	1. 人権全般について 2. 女性に関する人権について 3. 子どもに関する人権について 4. 高齢者に関する人権について 5. 障害（がい）者に関する人権について 6. 同和問題について 7. 外国人に関する人権について 8. インターネットによる人権侵害について 9. 人権問題への取組について 10. 自由記述

## 3. 回収結果

発送数	回収数	回収率
2,700	938	34.7%

## 4. 市町別抽出数

さいたま市	200	朝霞市	200
川口市	200	志木市	200
鴻巣市	200	和光市	200
上尾市	200	新座市	200
草加市	200	桶川市	200
蕨市	200	北本市	200
戸田市	200	伊奈町	100
		合計	2,700

## 5. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものである。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合がある。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様である。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢毎の有効回答数に対して、それぞれの割合を示している。そのため、合計が100.0%を超える場合がある。
- 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものである。
- グラフ中にカッコ書きで回答実数を記載する。
- 平成27年1月に実施した前回の調査と比較できるものについては、比較して掲載し、5ポイント以上の差がある場合について分析文に記載する。
- 表中において、年齢別に見た際に最も高い値を着色にて表記している。

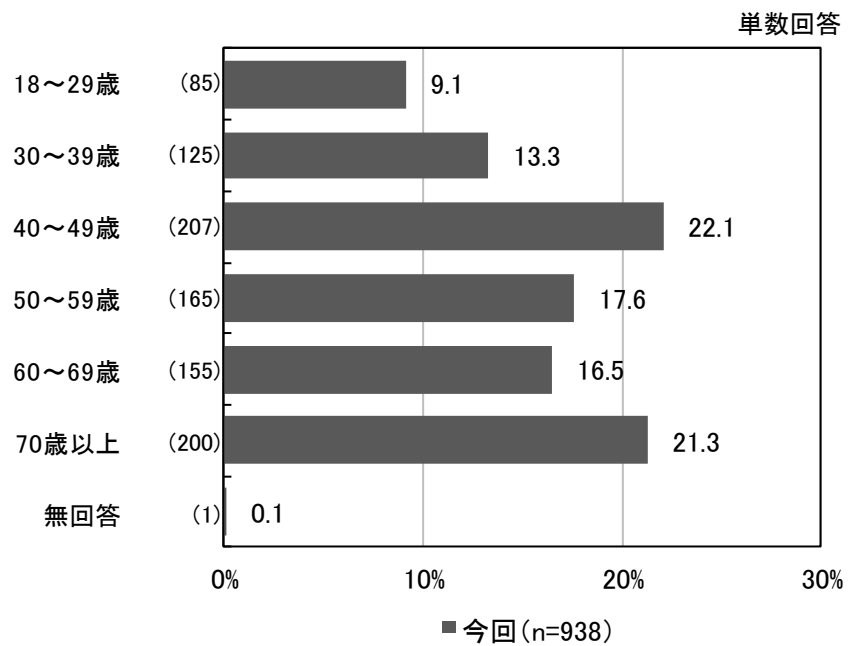
### ■前回調査結果

発送数	回収数	回収率
6,900	2,747	39.8%

## 2. 回答者の属性

### 問1 あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。

回答者の構成年齢は、「40～49歳」が22.1%で最も多く、次いで「70歳以上」が21.3%、「50～59歳」が17.6%と続いている。



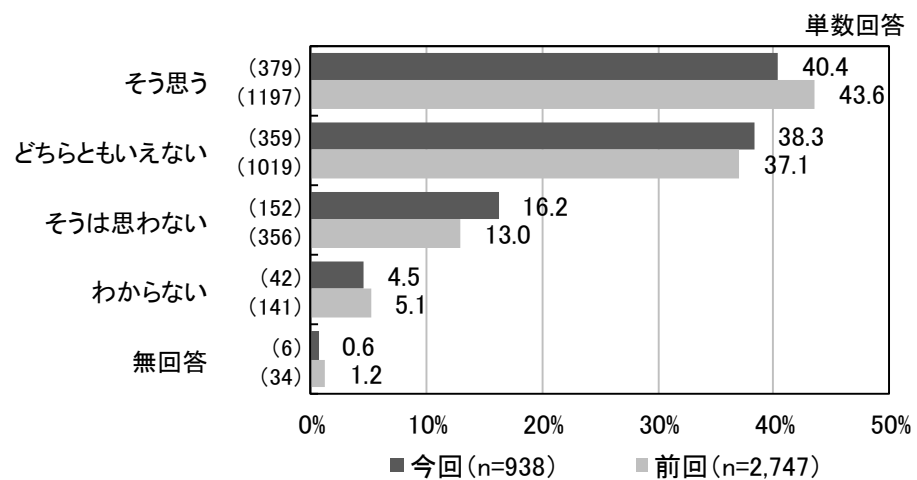
### 3. 調査結果の概要

#### 1. 人権全般について

問2 今の日本は、基本的人権が尊重されている社会であると思いますか。次の中から1つお選びください。

「そう思う」が40.4%で、「そうは思わない」の16.2%を大きく上回っており、「どちらともいえない」が38.3%となっている。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



#### 【年齢別】

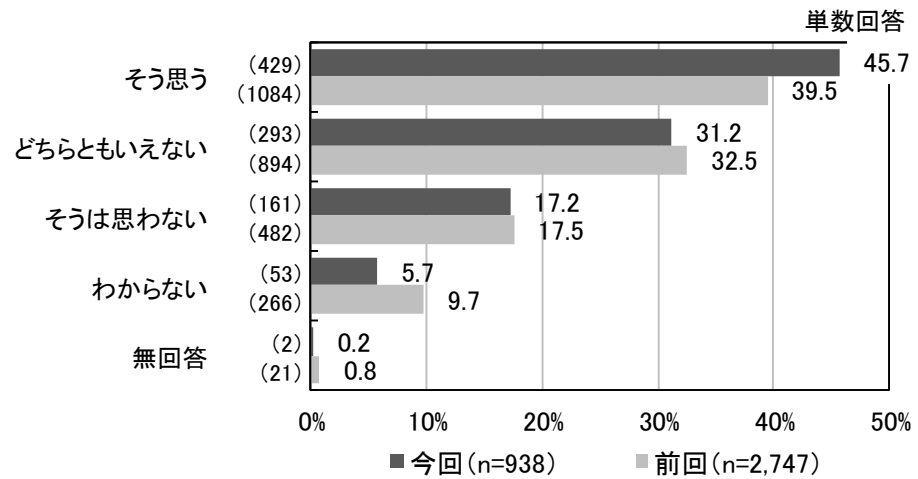
年齢別で見ると、「そう思う」は18～29歳で低く20%台であり、30歳以上で40%台となっている。18～29歳は「どちらともいえない」が最も高く、「そうは思わない」も20%台と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
そう思う	28.2%	45.6%	40.1%	43.6%	40.6%	40.0%
どちらともいえない	36.5%	33.6%	38.6%	43.6%	36.1%	38.5%
そうは思わない	21.2%	18.4%	16.9%	9.1%	19.4%	15.5%
わからない	14.1%	1.6%	3.9%	3.0%	3.9%	4.5%
無回答	0.0%	0.8%	0.5%	0.6%	0.0%	1.5%

**問3 国民一人ひとりの人権意識は、以前に比べて高くなっていると思いますか。次の中から1つお選びください。**

「そう思う」が45.7%で、「そうは思わない」の17.2%を大きく上回っており、「どちらともいえない」が31.2%となっている。

前回調査と比較すると、「そう思う」が6.2ポイント増加している。



**【年齢別】**

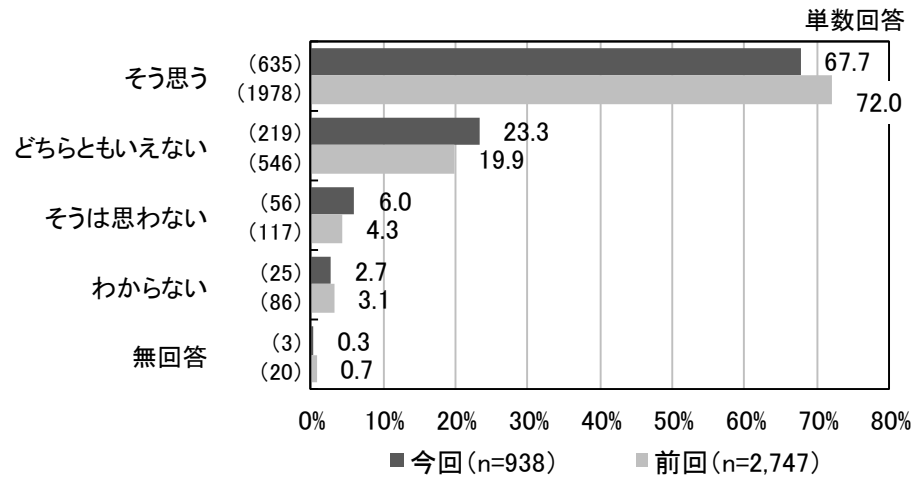
年齢別で見ると、「そう思う」はすべての年齢で40%台となっている。また、「そうは思わない」は年代が上がるにつれて、割合が低くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
そう思う	43.5%	43.2%	46.4%	49.1%	43.2%	46.5%
どちらともいえない	21.2%	32.0%	30.9%	27.9%	37.4%	33.5%
そうは思わない	23.5%	20.8%	19.3%	15.8%	15.5%	12.5%
わからない	11.8%	4.0%	3.4%	6.7%	3.9%	7.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.5%

問4 「近ごろ、人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた」という意見がありますが、あなたはこの意見についてどう思いますか。次の中から1つお選びください。

「そう思う」が67.7%で、「そうは思わない」の6.0%を大きく上回っており、「どちらともいえない」が23.3%となっている。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



**【年齢別】**

年齢別で見ると、「そう思う」は18～29歳で50%台、30～59歳で60%台、60歳以上で70%台となっている。

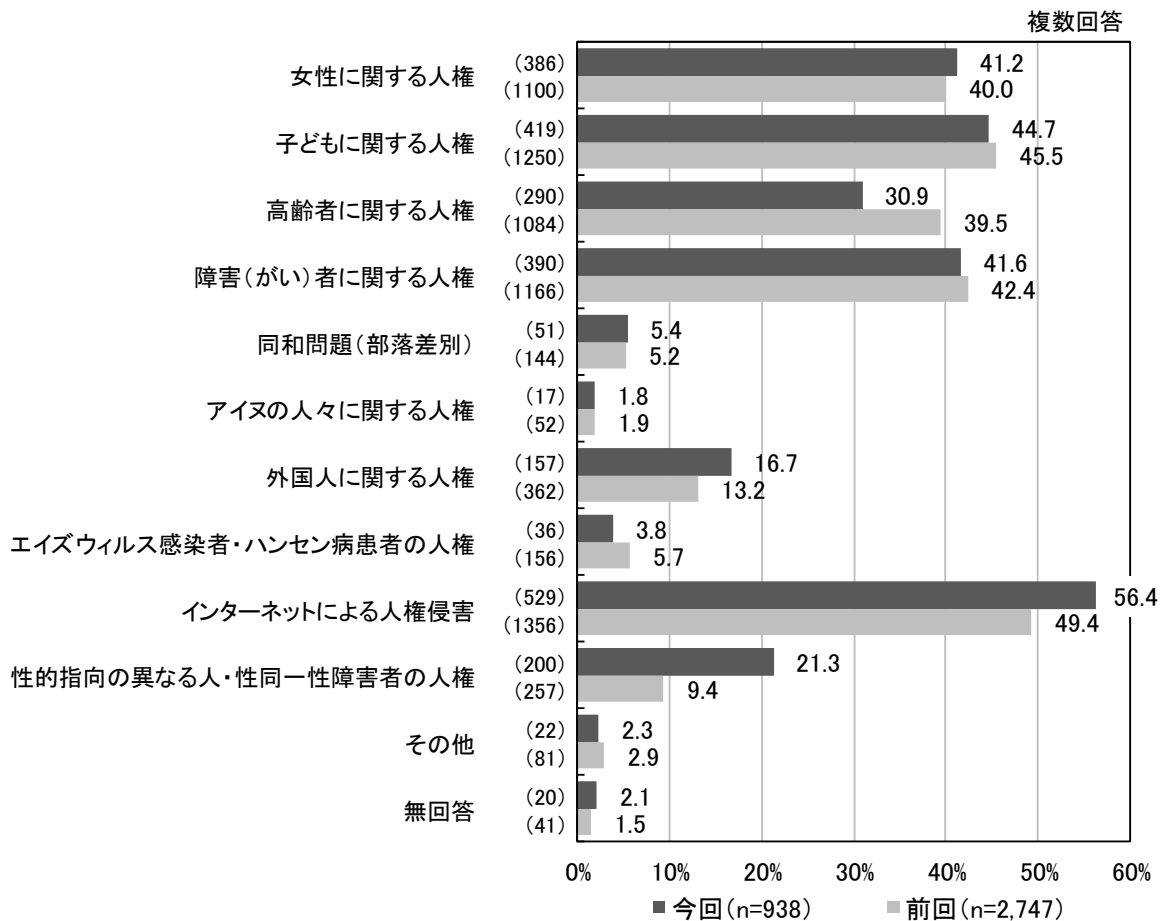
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
そう思う	55.3%	65.6%	65.7%	64.8%	72.3%	75.5%
どちらともいえない	25.9%	23.2%	26.1%	29.1%	19.4%	17.5%
そうは思わない	10.6%	6.4%	5.8%	5.5%	5.8%	4.5%
わからない	8.2%	4.0%	1.9%	0.6%	1.9%	2.5%
無回答	0.0%	0.8%	0.5%	0.0%	0.6%	0.0%



**問5 日本の社会には、人権にかかわるいろいろな問題がありますが、あなたが特に関心をお持ちのものを次の中から3つまでお選びください。**

「インターネットによる人権侵害」が56.4%で最も高く、次いで「子どもに関する人権」が44.7%、「障害（がい）者に関する人権」が41.6%と続いている。

前回調査と比較すると、「性的指向の異なる人・性同一性障害者の人権」が11.9ポイント増加、「インターネットによる人権侵害」が7.0ポイント増加、「高齢者に関する人権」が8.6ポイント減少している。



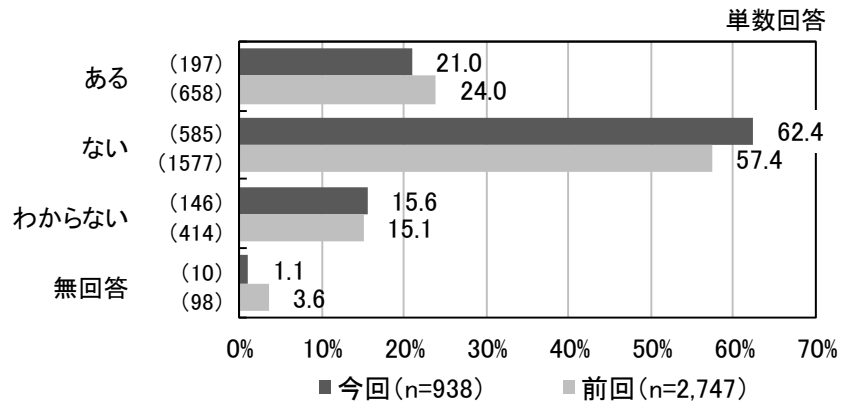
## 【年齢別】

年齢別で見ると、18～29歳と40～69歳で「インターネットによる人権侵害」、30～39歳で「子どもに関する人権」、70歳以上で「高齢者に関する人権」がそれぞれ最も高くなっている。また、「性的指向の異なる人・性同一性障害者の人権」は、18～29歳で40.0%と、他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
女性に関する人権	49.4%	56.0%	40.1%	35.8%	34.8%	39.0%
子どもに関する人権	38.8%	57.6%	44.9%	35.2%	45.8%	45.5%
高齢者に関する人権	14.1%	12.8%	19.3%	28.5%	45.2%	52.5%
障害（がい）者に関する人権	45.9%	35.2%	42.5%	34.5%	48.4%	43.5%
同和問題（部落差別）	3.5%	4.8%	7.2%	4.2%	1.3%	8.5%
アイヌの人々に関する人権	0.0%	2.4%	1.9%	0.6%	1.9%	3.0%
外国人に関する人権	16.5%	11.2%	20.8%	20.6%	12.9%	16.0%
エイズウイルス感染者・ハンセン病患者の人権	5.9%	0.8%	4.3%	3.6%	4.5%	4.0%
インターネットによる人権侵害	61.2%	49.6%	61.8%	69.1%	54.2%	44.0%
性的指向の異なる人・性同一性障害者の人権	40.0%	31.2%	25.6%	20.6%	12.3%	10.5%
その他	1.2%	4.8%	2.4%	1.2%	2.6%	2.0%
無回答	0.0%	1.6%	1.0%	1.8%	1.9%	5.0%

**問6 あなたは、今までに、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。次の中から1つお選びください。**

「ある」が21.0%、「ない」が62.4%となっている。  
 前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



**【年齢別】**

年齢別で見ると、「ある」は18～29歳と70歳以上で10%台、30～69歳で20%台となっている。また、18～29歳で「わからない」が23.5%と他の年代と比べて高くなっている。

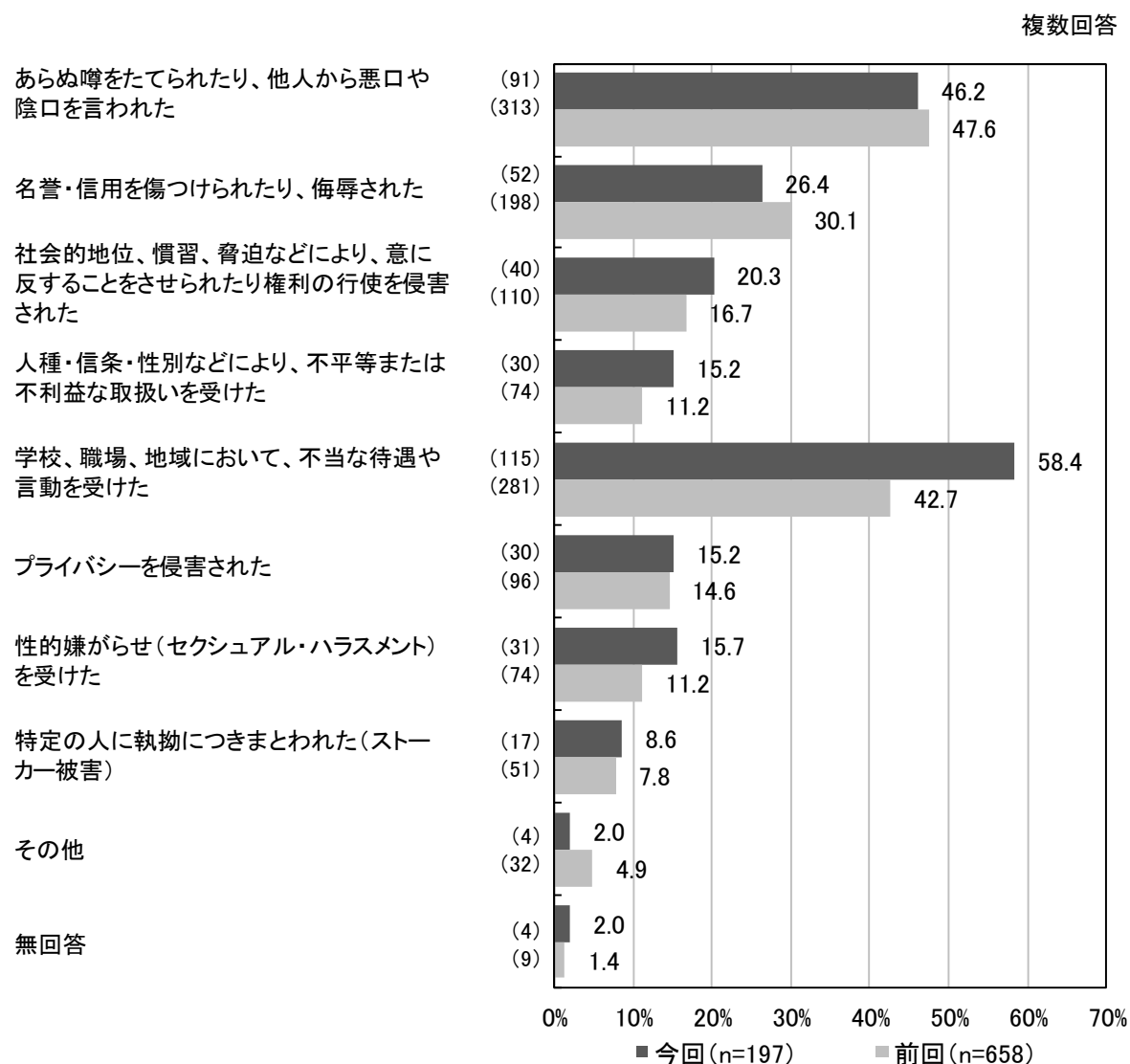
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
ある	16.5%	24.8%	21.7%	26.1%	22.6%	14.5%
ない	60.0%	63.2%	58.9%	58.2%	63.2%	69.0%
わからない	23.5%	12.0%	18.8%	15.2%	12.3%	14.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.5%	0.6%	1.9%	2.5%

(問6で「1 ある」と答えた方におたずねします。)

**問7 どのような人権侵害でしたか。次の中から該当するものすべてお選びください。**

「学校、職場、地域において、不当な待遇や言動を受けた」が58.4%で最も高く、次いで「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」が46.2%、「名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された」が26.4%と続いている。

前回調査と比較すると、「学校、職場、地域において、不当な待遇や言動を受けた」が15.7ポイント増加している。



※「学校、職場、地域において、不当な待遇や言動を受けた」の選択肢は、前回は「職場において、不当な待遇や言動を受けた」となっている。

## 【年齢別】

年齢別で見ると、40～49歳と70歳以上で「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」、それ以外の年代で「学校、職場、地域において、不当な待遇や言動を受けた」、がそれぞれ最も高くなっている。

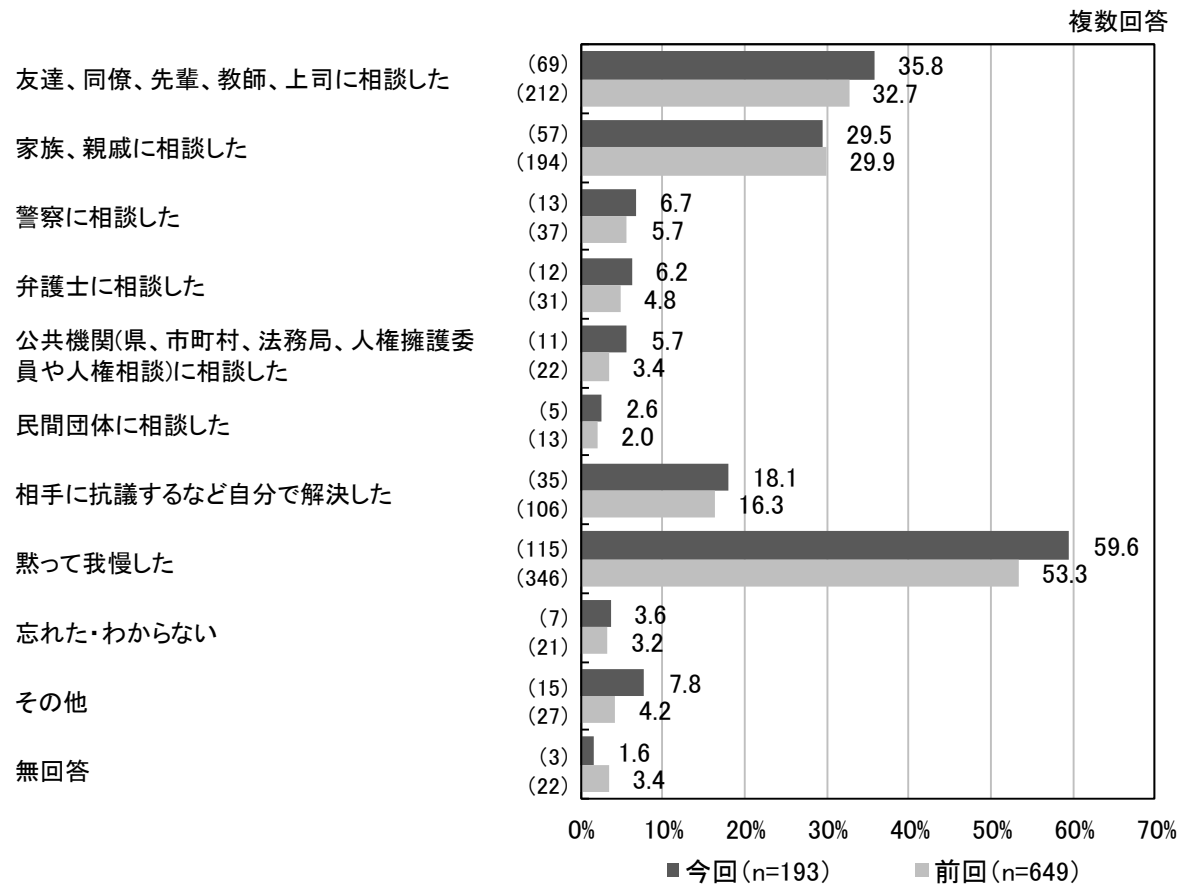
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	14人	31人	45人	43人	35人	29人
あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた	64.3%	48.4%	55.6%	34.9%	37.1%	48.3%
名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された	28.6%	25.8%	26.7%	32.6%	28.6%	13.8%
社会的地位、慣習、脅迫などにより、意に反することをさせられたり権利の行使を侵害された	14.3%	12.9%	31.1%	23.3%	20.0%	10.3%
人種・信条・性別などにより、不平等または不利益な取扱いを受けた	14.3%	16.1%	22.2%	14.0%	11.4%	10.3%
学校、職場、地域において、不当な待遇や言動を受けた	78.6%	80.6%	53.3%	65.1%	45.7%	37.9%
プライバシーを侵害された	21.4%	19.4%	8.9%	16.3%	17.1%	13.8%
性的嫌がらせ（セクシュアル・ハラスメント）を受けた	14.3%	25.8%	22.2%	16.3%	5.7%	6.9%
特定の人に執拗につきまとわれた（ストーカー被害）	0.0%	16.1%	6.7%	14.0%	2.9%	6.9%
その他	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	2.9%	6.9%
無回答	7.1%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	6.9%

(問7で答えた方におたずねします。)

**問8 その時、どうされましたか。次の中から該当するものすべてお選びください。**

「黙って我慢した」が59.6%で最も高く、次いで「友達、同僚、先輩、教師、上司に相談した」が35.8%、「家族、親戚に相談した」が29.5%と続いている。

前回調査と比較すると、「黙って我慢した」が6.3ポイント増加している。



※「友達、同僚、先輩、教師、上司に相談した」の選択肢は、前回は「友達、同僚、上司に相談した」となっている。

## 【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「黙って我慢した」が最も高く、特に30～39歳で77.4%と高くなっている。また、18～29歳で「友達、同僚、先輩、教師、上司に相談した」と「家族、親戚に相談した」、「相手に抗議するなど自分で解決した」が他の年代に比べて高くなっている。

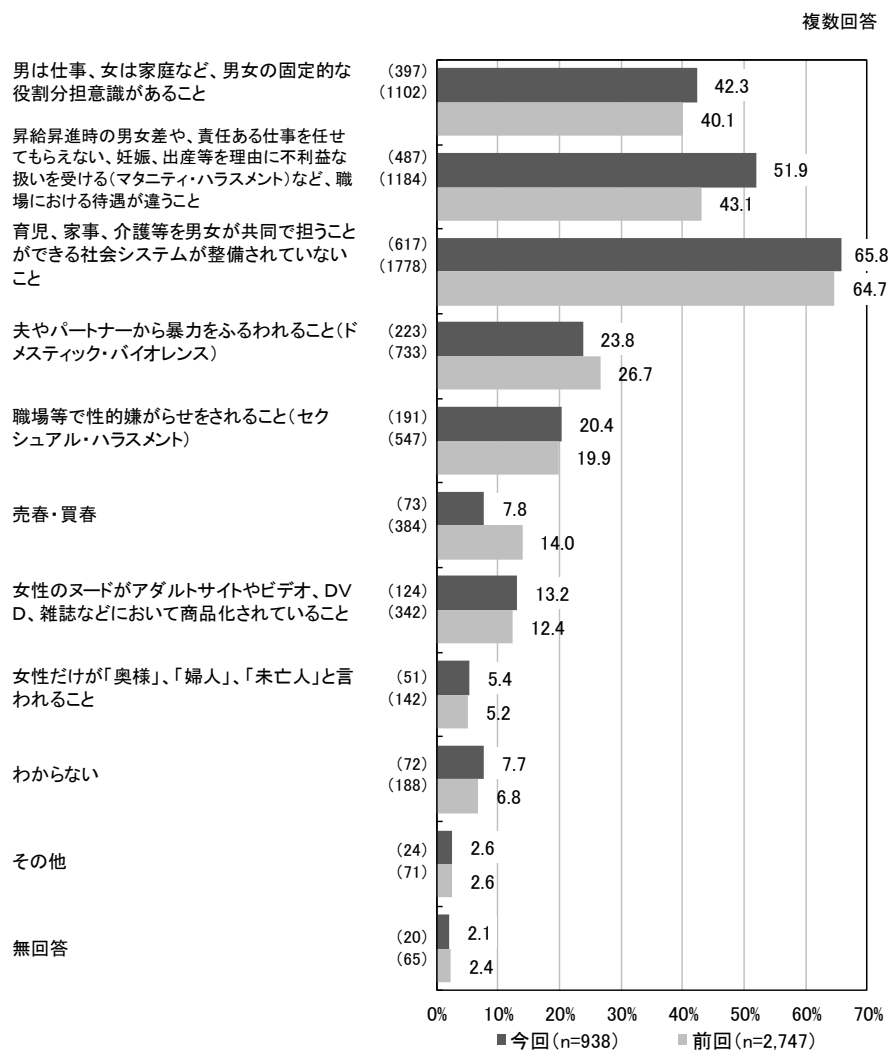
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	13人	31人	44人	43人	35人	27人
友達、同僚、先輩、教師、上司に相談した	53.8%	38.7%	40.9%	39.5%	28.6%	18.5%
家族、親戚に相談した	46.2%	38.7%	31.8%	23.3%	28.6%	18.5%
警察に相談した	0.0%	6.5%	2.3%	4.7%	11.4%	14.8%
弁護士に相談した	7.7%	0.0%	2.3%	7.0%	14.3%	7.4%
公共機関(県、市町村、法務局、人権擁護委員や人権相談)に相談した	7.7%	3.2%	2.3%	7.0%	8.6%	7.4%
民間団体に相談した	7.7%	0.0%	2.3%	4.7%	2.9%	0.0%
相手に抗議するなど自分で解決した	30.8%	12.9%	15.9%	16.3%	17.1%	25.9%
黙って我慢した	69.2%	77.4%	63.6%	53.5%	40.0%	63.0%
忘れた・わからない	7.7%	3.2%	0.0%	7.0%	2.9%	3.7%
その他	0.0%	0.0%	11.4%	7.0%	17.1%	3.7%
無回答	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	5.7%	0.0%

## 2. 女性に関する人権について

問9 女性に関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

「育児、家事、介護等を男女が共同で担うことができる社会システムが整備されていないこと」が65.8%で最も高く、次いで「昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえない、妊娠、出産等を理由に不利益な扱いを受ける（マタニティ・ハラスメント）など、職場における待遇が違うこと」が51.9%、「男は仕事、女は家庭など、男女の固定的な役割分担意識があること」が42.3%と続いている。

前回調査と比較すると、「昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえない、妊娠、出産等を理由に不利益な扱いを受ける（マタニティ・ハラスメント）など、職場における待遇が違うこと」が8.8ポイント増加、「売春・買春」が6.2ポイント減少している。



※「昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえない、妊娠、出産等を理由に不利益な扱いを受ける（マタニティ・ハラスメント）など、職場における待遇が違うこと」の選択肢は、前回は「昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえないなど、職場における待遇が違うこと」となっている。また、「売春・買春」の選択肢は、前回は「売春・買春、援助交際」となっている。さらに、「女性のヌードがアダルトサイトやビデオ、DVD、雑誌などにおいて商品化されていること」の選択肢は、前回は「女性のヌードがアダルトビデオやポルノ雑誌などにおいて商品化されていること」となっている。



## 【年齢別】

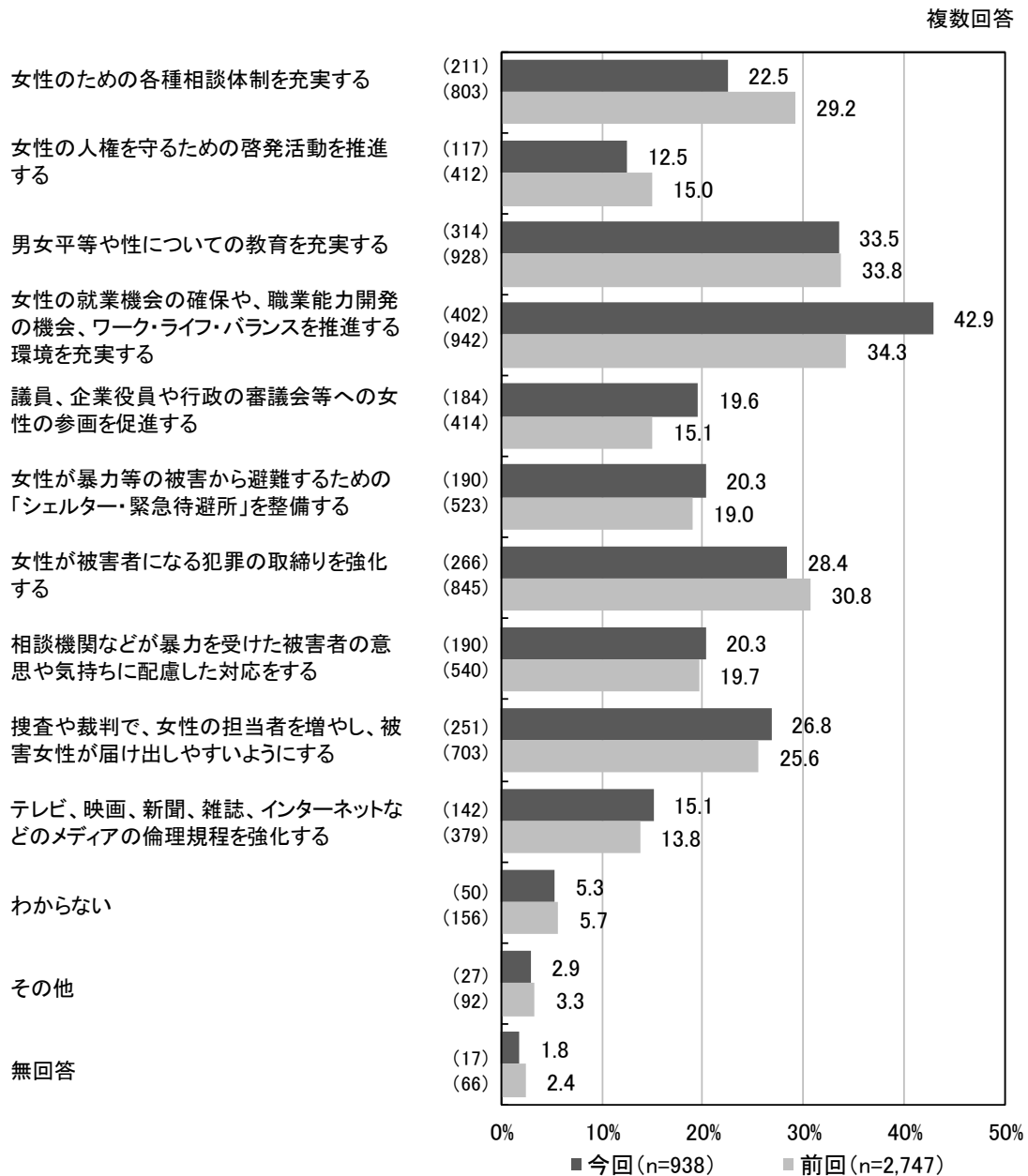
年齢別で見ると、すべての年代で「育児、家事、介護等を男女が共同で担うことができる社会システムが整備されていないこと」が最も高く、特に18～29歳と40～49歳で70%台と高くなっている。また、18～29歳で「昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえない、妊娠、出産等を理由に不利益な扱いを受ける（マタニティ・ハラスメント）など、職場における待遇が違うこと」が70.6%と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
男は仕事、女は家庭など、男女の固定的な役割分担意識があること	52.9%	47.2%	43.5%	37.6%	34.8%	43.5%
昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえない、妊娠、出産等を理由に不利益な扱いを受ける（マタニティ・ハラスメント）など、職場における待遇が違うこと	70.6%	54.4%	49.8%	48.5%	50.3%	48.5%
育児、家事、介護等を男女が共同で担うことができる社会システムが整備されていないこと	71.8%	68.8%	72.5%	58.8%	65.8%	60.0%
夫やパートナーから暴力をふるわれること（ドメスティック・バイオレンス）	18.8%	16.0%	27.5%	32.1%	27.7%	17.0%
職場等で性的嫌がらせをされること（セクシュアル・ハラスメント）	23.5%	18.4%	23.7%	24.2%	21.9%	12.5%
売春・買春	5.9%	8.8%	6.8%	7.3%	9.7%	8.0%
女性のヌードがアダルトサイトやビデオ、DVD、雑誌などにおいて商品化されていること	4.7%	7.2%	5.8%	17.0%	13.5%	24.5%
女性だけが「奥様」、「婦人」、「未亡人」と言われること	3.5%	7.2%	2.4%	3.0%	4.5%	11.0%
わからない	8.2%	4.8%	5.3%	6.7%	11.6%	9.5%
その他	4.7%	4.0%	1.4%	3.6%	1.9%	1.5%
無回答	0.0%	0.8%	2.4%	0.0%	0.6%	6.5%

**問 10 女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。**

「女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会、ワーク・ライフ・バランスを推進する環境を充実する」が42.9%で最も高く、次いで「男女平等や性についての教育を充実する」が33.5%、「女性が被害者になる犯罪の取締りを強化する」が28.4%と続いている。

前回調査と比較すると、「女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会、ワーク・ライフ・バランスを推進する環境を充実する」が8.6ポイント増加、「女性のための各種相談体制を充実する」が6.7ポイント減少している。



※「女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会、ワーク・ライフ・バランスを推進する環境を充実する」の選択肢は、前回は「女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会を充実する」となっている。また、「テレビ、映画、新聞、雑誌、インターネットなどのメディアの倫理規程を強化する」の選択肢は、前回は「テレビ、映画、新聞、雑誌などのメディアの倫理規程を強化する」となっている。

## 【年齢別】

年齢別で見ると、69歳以下で「女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会、ワーク・ライフ・バランスを推進する環境を充実する」、70歳以上で「女性が被害者になる犯罪の取締りを強化する」がそれぞれ最も高くなっている。また、30～39歳で「男女平等や性についての教育を充実する」が42.4%と他の年代に比べて高くなっている。

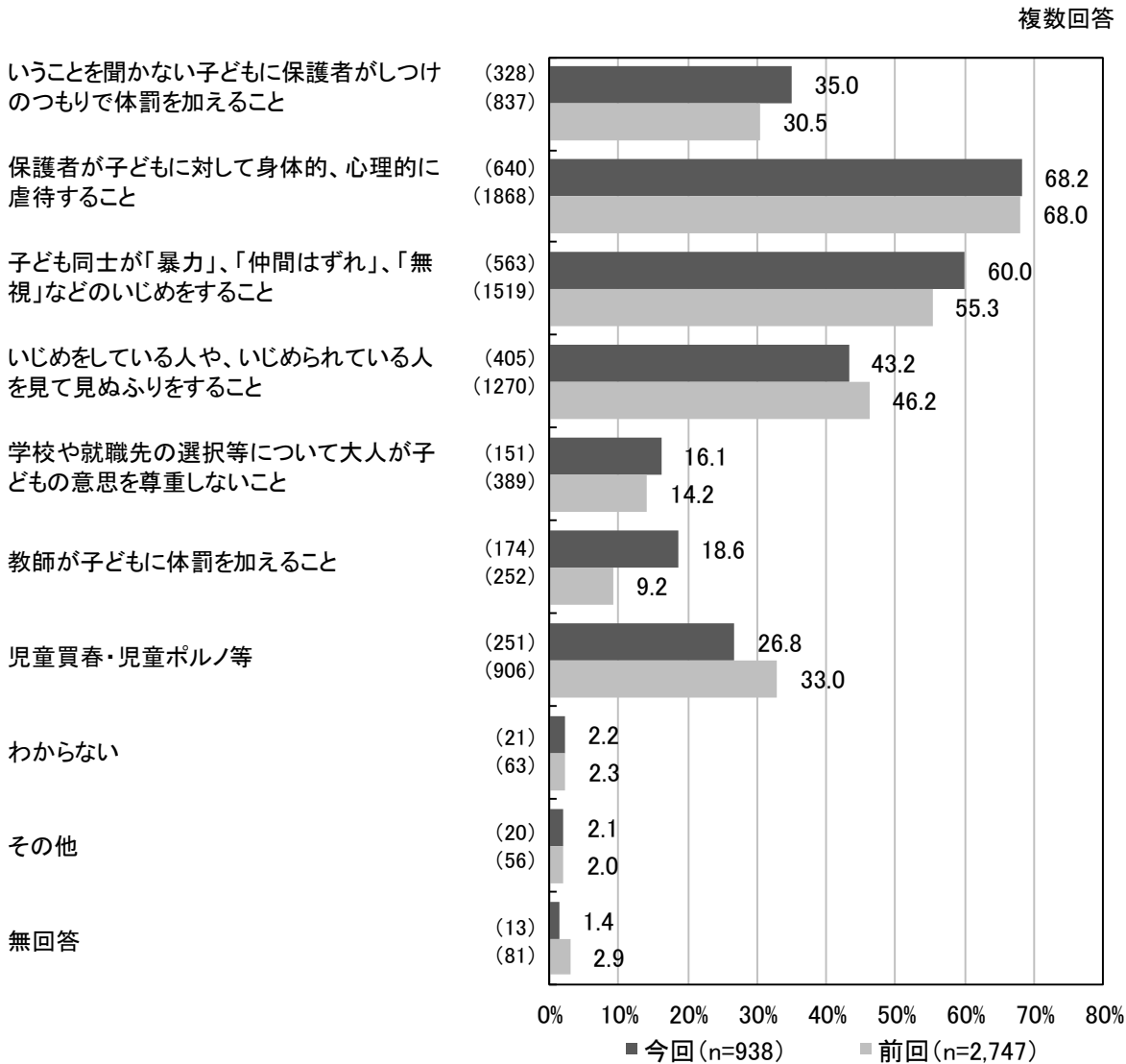
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
女性のための各種相談体制を充実する	17.6%	17.6%	20.3%	19.4%	30.3%	26.5%
女性の人権を守るための啓発活動を推進する	8.2%	8.8%	10.6%	15.2%	12.9%	15.5%
男女平等や性についての教育を充実する	36.5%	42.4%	31.9%	33.9%	29.0%	31.5%
女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会、ワーク・ライフ・バランスを推進する環境を充実する	57.6%	49.6%	43.0%	42.4%	45.2%	30.5%
議員、企業役員や行政の審議会等への女性の参画を促進する	20.0%	17.6%	16.4%	18.2%	17.4%	27.0%
女性が暴力等の被害から避難するための「シェルター・緊急待避所」を整備する	20.0%	16.8%	20.8%	21.2%	22.6%	19.5%
女性が被害者になる犯罪の取締りを強化する	20.0%	24.0%	30.4%	27.9%	27.1%	34.0%
相談機関などが暴力を受けた被害者の意思や気持ちに配慮した対応をする	14.1%	13.6%	23.2%	24.2%	24.5%	17.5%
捜査や裁判で、女性の担当を増やし、被害女性が届け出しやすいようにする	25.9%	20.0%	26.1%	27.9%	27.7%	30.0%
テレビ、映画、新聞、雑誌、インターネットなどのメディアの倫理規程を強化する	10.6%	17.6%	11.1%	20.0%	14.2%	16.5%
わからない	4.7%	4.8%	4.8%	5.5%	6.5%	5.5%
その他	4.7%	5.6%	4.3%	1.2%	0.6%	2.0%
無回答	1.2%	0.0%	2.4%	0.6%	0.6%	4.5%

### 3. 子どもに関する人権について

問 11 子どもに関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。  
次の中から3つまでお選びください。

「保護者が子どもに対して身体的、心理的に虐待すること」が68.2%で最も高く、次いで「子ども同士が『暴力』、『仲間はずれ』、『無視』などのいじめをすること」が60.0%、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事」が43.2%と続いている。

前回調査と比較すると、「教師が子どもに体罰を加えること」が9.4ポイント増加、「児童買春・児童ポルノ等」が6.2ポイント減少している。



## 【年齢別】

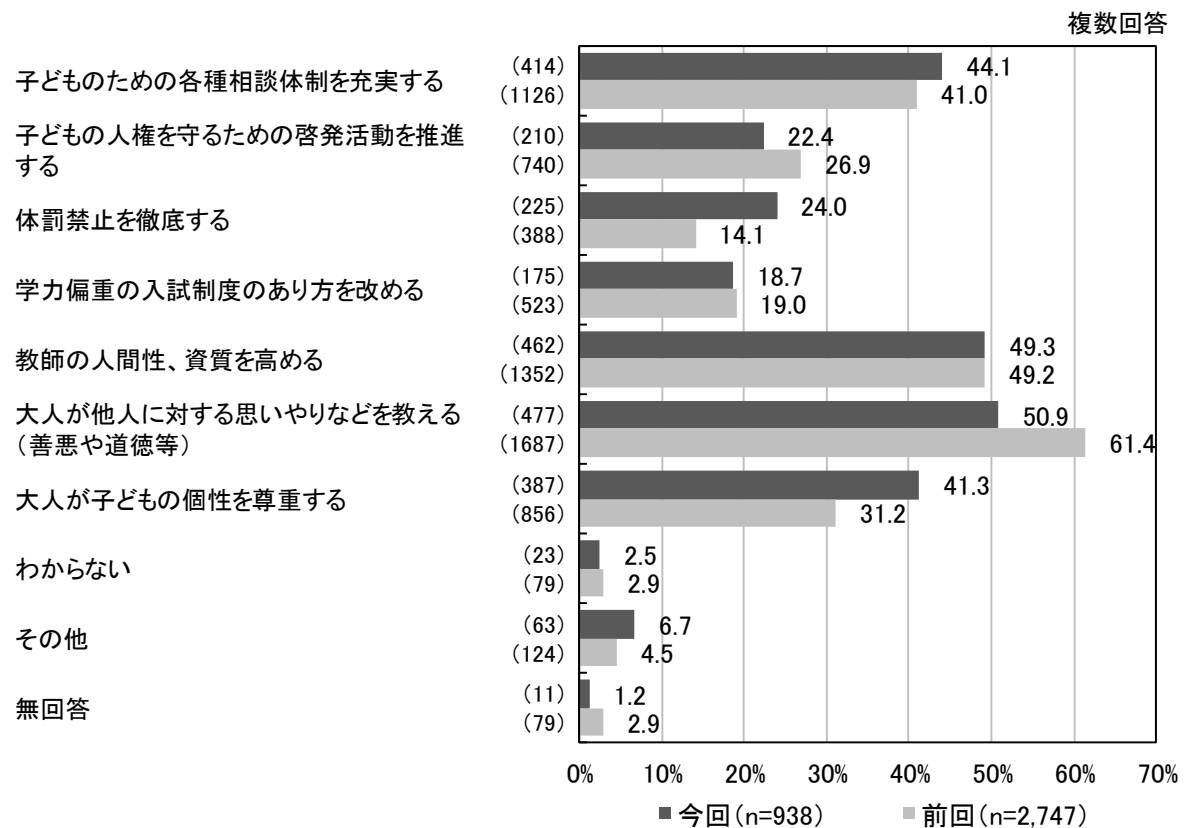
年齢別で見ると、69歳以下で「保護者が子どもに対して身体的、心理的に虐待すること」、70歳以上で「子ども同士が『暴力』、『仲間はずれ』、『無視』などのいじめをすること」がそれぞれ最も高くなっている。また、18～29歳で「学校や就職先の選択等について大人が子どもの意思を尊重しないこと」と「教師が子どもに体罰を加えること」が20%台後半と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
いうことを聞かない子どもに保護者がしつけのつもりで体罰を加えること	41.2%	32.0%	29.0%	31.5%	41.9%	38.0%
保護者が子どもに対して身体的、心理的に虐待すること	72.9%	73.6%	71.5%	70.3%	67.7%	58.0%
子ども同士が「暴力」、「仲間はずれ」、「無視」などのいじめをすること	51.8%	51.2%	56.0%	66.1%	67.1%	62.5%
いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事	37.6%	39.2%	42.5%	38.2%	47.7%	49.5%
学校や就職先の選択等について大人が子どもの意思を尊重しないこと	29.4%	14.4%	16.4%	10.3%	13.5%	18.0%
教師が子どもに体罰を加えること	27.1%	18.4%	19.8%	17.0%	15.5%	17.5%
児童買春・児童ポルノ等	16.5%	28.0%	30.4%	36.4%	25.2%	19.5%
わからない	1.2%	0.8%	1.9%	1.2%	2.6%	4.5%
その他	1.2%	4.8%	2.9%	1.8%	0.6%	1.5%
無回答	1.2%	0.8%	1.4%	1.2%	0.6%	2.5%

**問 12 子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。**

「大人が他人に対する思いやりなどを教える（善悪や道德等）」が 50.9%で最も高く、次いで「教師の人間性、資質を高める」が 49.3%、「子どものための各種相談体制を充実する」が 44.1%と続いている。

前回調査と比較すると、「大人が子どもの個性を尊重する」が 10.1 ポイント増加、「体罰禁止を徹底する」が 9.9 ポイント増加、「大人が他人に対する思いやりなどを教える（善悪や道德等）」が 10.5 ポイント減少している。



## 【年齢別】

年齢別で見ると、18～29歳で「大人が子どもの個性を尊重する」、30歳以上で「大人が他人に対する思いやりなどを教える（善悪や道德等）」がそれぞれ最も高くなっている。また、70歳以上で「学力偏重の入試制度のあり方を改める」が29.0%と他の年代に比べて高くなっている。

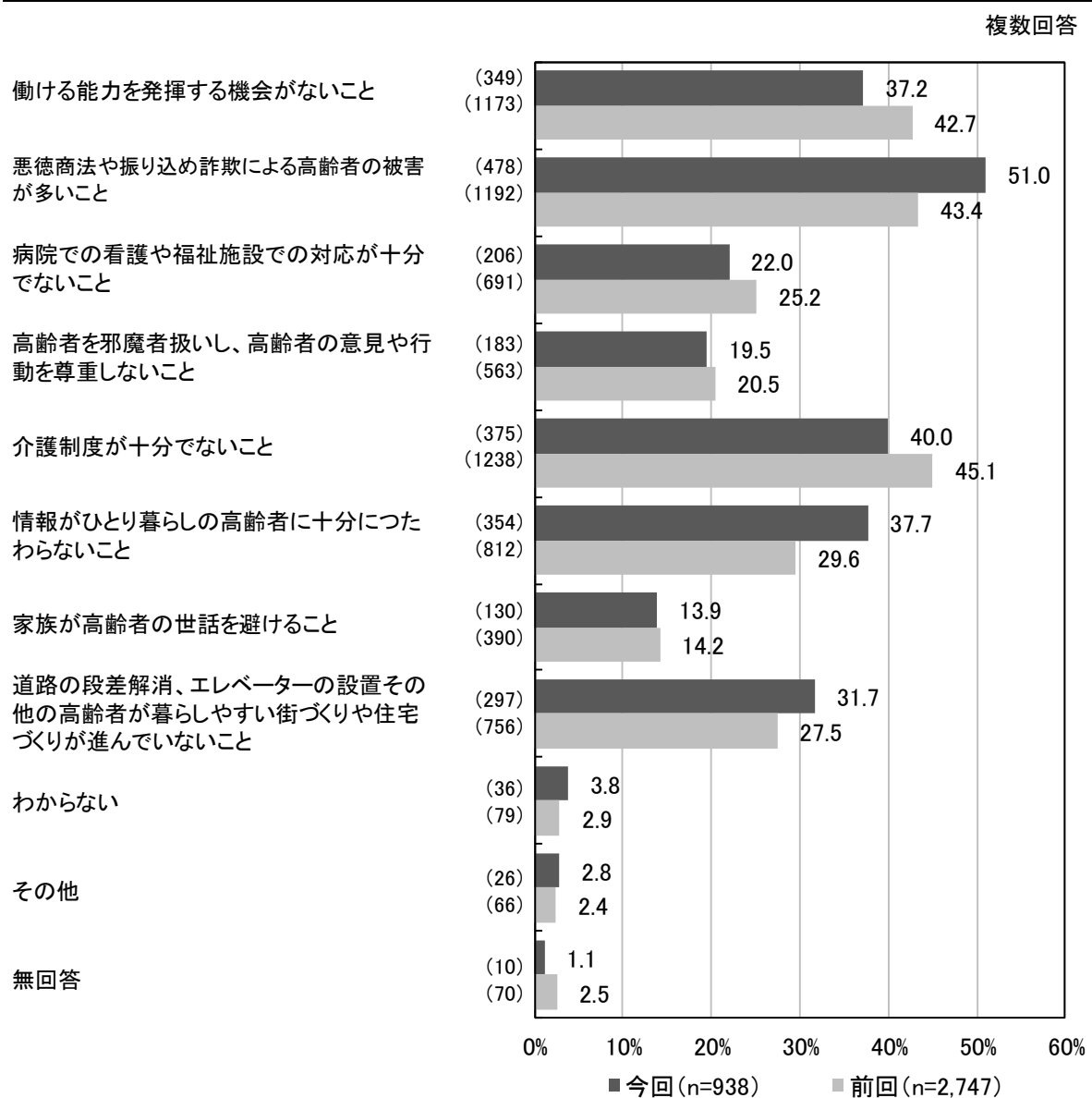
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
子どものための各種相談体制を充実する	35.3%	44.8%	43.0%	46.1%	49.7%	43.0%
子どもの人権を守るための啓発活動を推進する	16.5%	20.8%	20.8%	24.2%	23.2%	25.0%
体罰禁止を徹底する	34.1%	24.0%	14.5%	18.8%	28.4%	30.5%
学力偏重の入試制度のあり方を改める	14.1%	12.0%	15.0%	18.2%	18.1%	29.0%
教師の人間性、資質を高める	51.8%	43.2%	51.7%	44.8%	52.3%	50.5%
大人が他人に対する思いやりなどを教える（善悪や道德等）	29.4%	46.4%	57.5%	49.1%	53.5%	55.5%
大人が子どもの個性を尊重する	60.0%	36.8%	47.8%	34.5%	36.1%	39.0%
わからない	5.9%	1.6%	1.9%	2.4%	3.2%	1.5%
その他	7.1%	14.4%	7.2%	9.1%	4.5%	1.0%
無回答	1.2%	0.8%	0.5%	1.2%	0.0%	3.0%

## 4. 高齢者に関する人権について

問 13 高齢者に関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。  
次の中から3つまでお選びください。

「悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと」が51.0%で最も高く、次いで「介護制度が十分でないこと」が40.0%、「情報がひとり暮らしの高齢者に十分につたわらないこと」が37.7%と続いている。

前回調査と比較すると、「情報がひとり暮らしの高齢者に十分につたわらないこと」が8.1ポイント増加、「悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと」が7.6ポイント増加、「働ける能力を発揮する機会がないこと」が5.5ポイント減少している。





## 【年齢別】

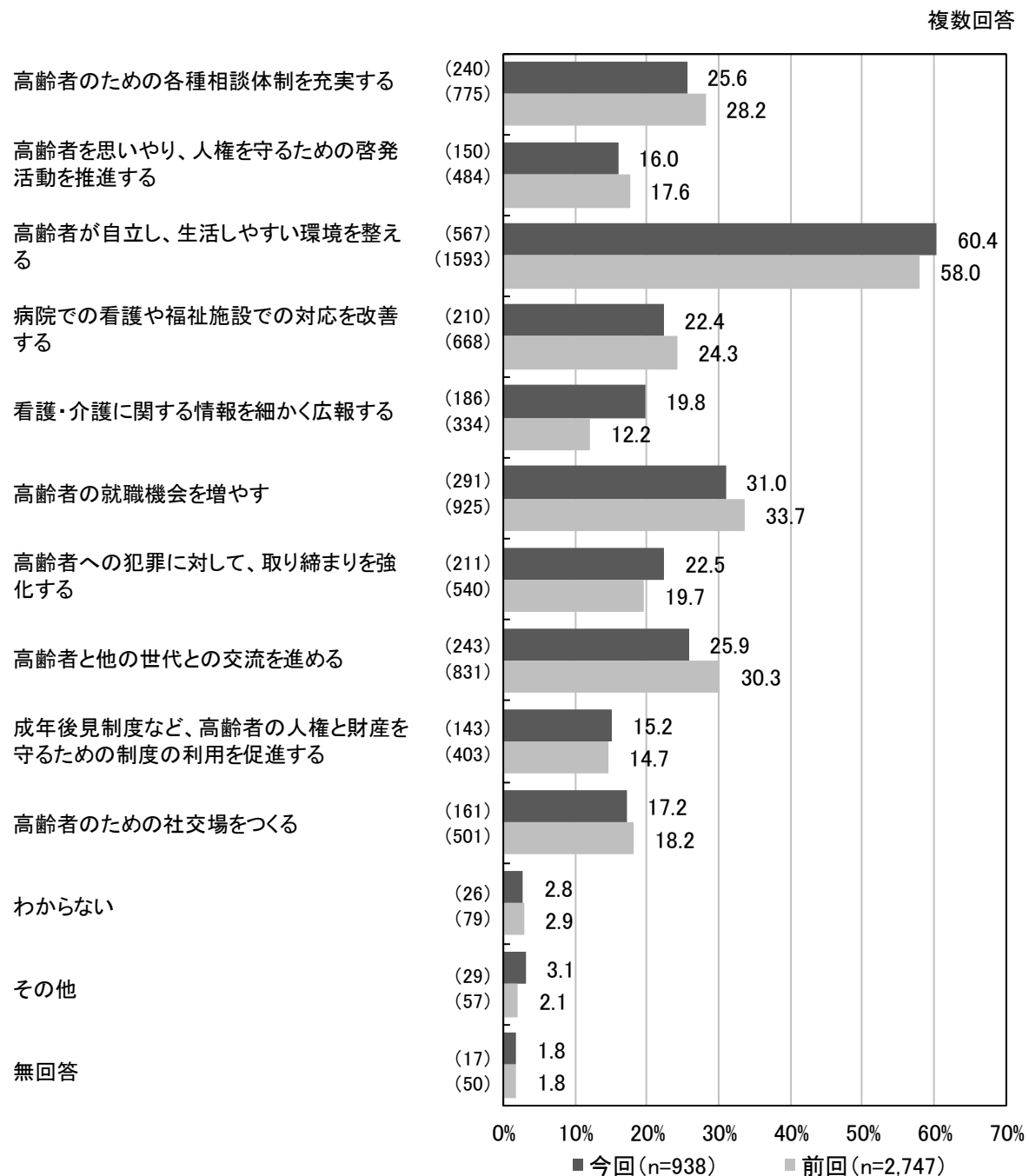
年齢別で見ると、18～29歳で「介護制度が十分でないこと」、30歳以上で「悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと」がそれぞれ最も高くなっている。また、70歳以上で「高齢者を邪魔者扱いし、高齢者の意見や行動を尊重しないこと」が27.5%と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
働ける能力を発揮する機会がないこと	36.5%	34.4%	40.6%	38.8%	40.0%	32.5%
悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと	47.1%	52.0%	53.6%	46.7%	49.7%	53.5%
病院での看護や福祉施設での対応が十分でないこと	23.5%	24.8%	20.8%	22.4%	25.8%	17.5%
高齢者を邪魔者扱いし、高齢者の意見や行動を尊重しないこと	14.1%	20.0%	15.0%	18.8%	18.7%	27.5%
介護制度が十分でないこと	48.2%	35.2%	45.4%	41.2%	43.9%	29.5%
情報がひとり暮らしの高齢者に十分につたわらないこと	38.8%	37.6%	36.2%	38.2%	34.8%	41.0%
家族が高齢者の世話を避けること	17.6%	13.6%	13.0%	11.5%	11.6%	17.0%
道路の段差解消、エレベーターの設置その他の高齢者が暮らしやすい街づくりや住宅づくりが進んでいないこと	31.8%	24.0%	30.9%	32.7%	33.5%	34.5%
わからない	2.4%	3.2%	1.9%	4.2%	5.2%	5.5%
その他	1.2%	4.0%	3.4%	4.2%	1.9%	1.5%
無回答	1.2%	0.8%	1.0%	0.6%	0.6%	2.0%

**問 14 高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。**

「高齢者が自立し、生活しやすい環境を整える」が60.4%で最も高く、次いで「高齢者の就職機会を増やす」が31.0%、「高齢者との世代との交流を進める」が25.9%と続いている。

前回調査と比較すると、「看護・介護に関する情報を細かく広報する」が7.6ポイント増加している。



※「高齢者のための各種相談体制を充実する」の選択肢は、前回は「高齢者のための各種相談機能を充実する」となっている。また、「看護・介護に関する情報を細かく広報する」の選択肢は、前回は「看護に関する情報を細かく広報する」となっている。

## 【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「高齢者が自立し、生活しやすい環境を整える」が最も高くなっている。また、70歳以上で「高齢者のための各種相談体制を充実する」が32.5%と他の年代に比べて高くなっている。

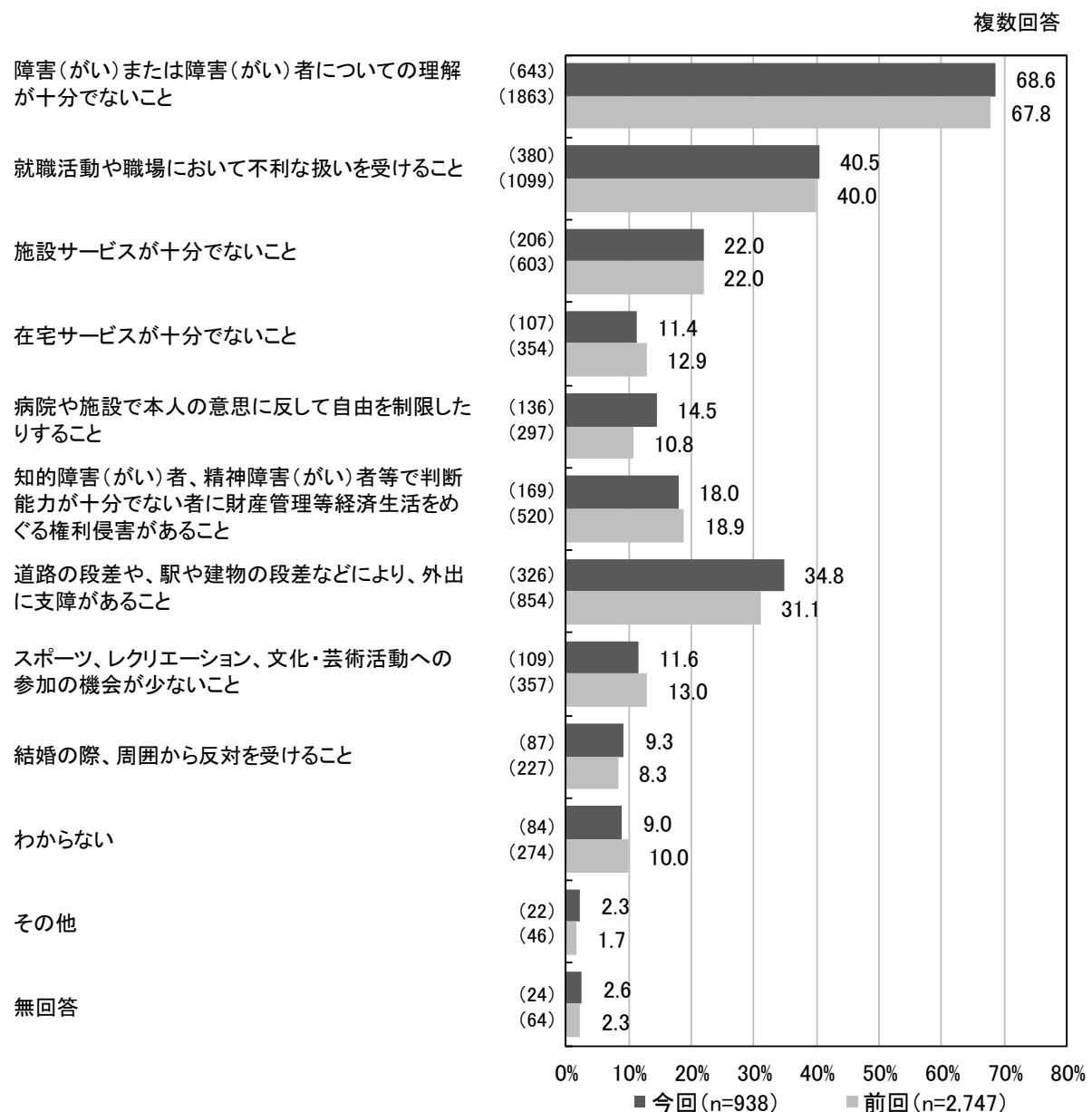
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
高齢者のための各種相談体制を充実する	18.8%	22.4%	25.1%	22.4%	27.1%	32.5%
高齢者を思いやり、人権を守るための啓発活動を推進する	11.8%	10.4%	13.0%	13.9%	22.6%	20.5%
高齢者が自立し、生活しやすい環境を整える	48.2%	55.2%	59.9%	63.0%	64.5%	64.0%
病院での看護や福祉施設での対応を改善する	29.4%	24.0%	22.2%	20.6%	27.1%	16.5%
看護・介護に関する情報を細かく広報する	22.4%	15.2%	17.9%	18.2%	21.9%	23.5%
高齢者の就職機会を増やす	30.6%	33.6%	38.2%	33.9%	28.4%	22.0%
高齢者への犯罪に対して、取り締まりを強化する	21.2%	23.2%	28.5%	16.4%	18.1%	25.0%
高齢者と他の世代との交流を進める	23.5%	29.6%	29.0%	33.3%	21.9%	18.5%
成年後見制度など、高齢者の人権と財産を守るための制度の利用を促進する	14.1%	11.2%	14.5%	20.0%	17.4%	13.0%
高齢者のための社交場をつくる	25.9%	20.0%	15.9%	17.6%	11.0%	17.5%
わからない	3.5%	1.6%	1.0%	1.8%	3.9%	5.0%
その他	4.7%	4.8%	3.9%	2.4%	2.6%	1.5%
無回答	1.2%	0.8%	0.5%	0.6%	2.6%	4.5%

## 5. 障害（がい）者に関する人権について

問 15 障害（がい）者に関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

「障害（がい）または障害（がい）者についての理解が十分でないこと」が68.6%で最も高く、次いで「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」が40.5%、「道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障があること」が34.8%と続いている。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



## 【年齢別】

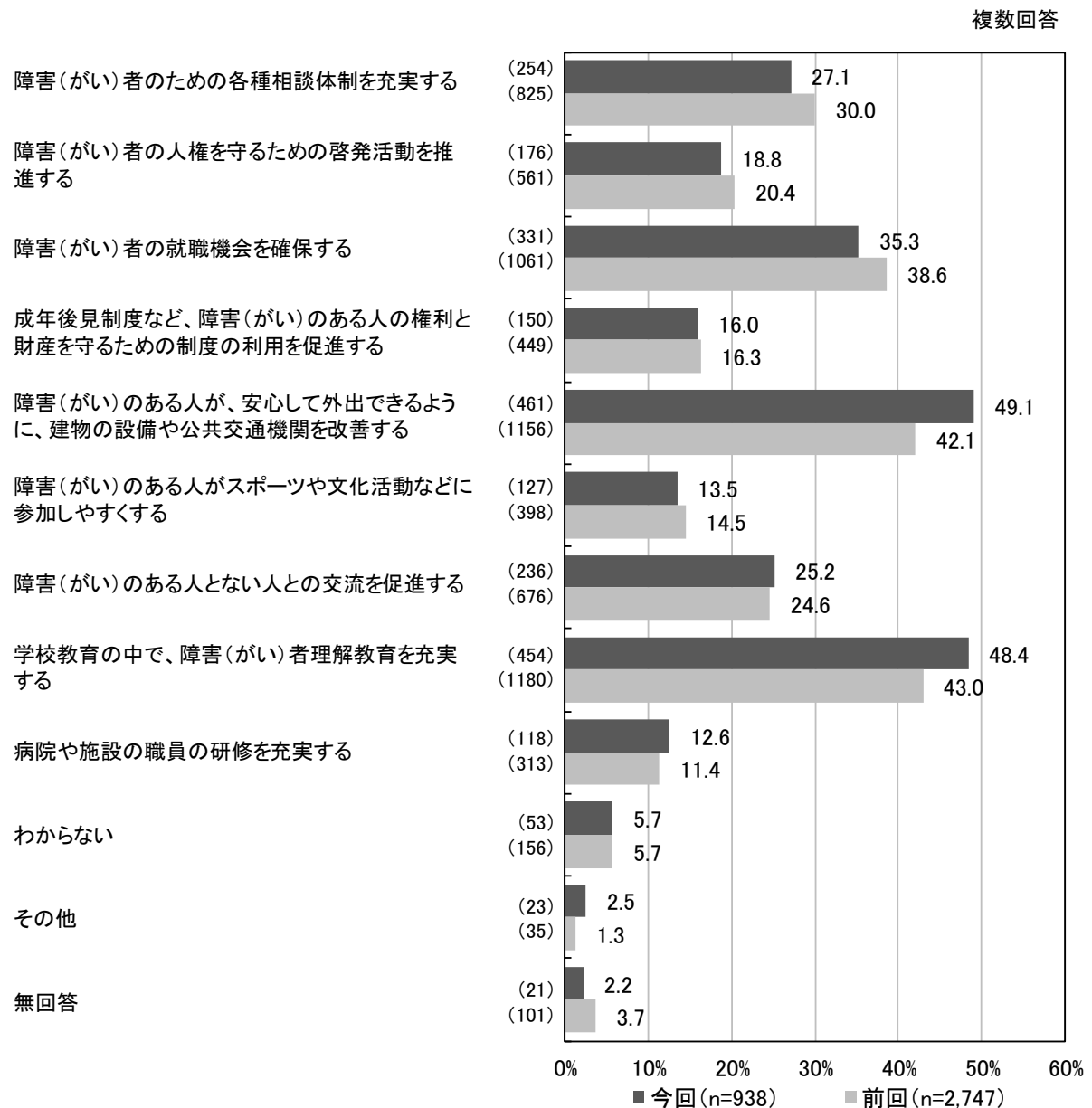
年齢別で見ると、すべての年代で「障害（がい）または障害（がい）者についての理解が十分でないこと」が最も高く、特に18～29歳と40～49歳で70%台となっている。また、18～49歳で「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」が40%台と高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
障害（がい）または障害（がい）者についての理解が十分でないこと	76.5%	65.6%	74.4%	69.1%	68.4%	60.5%
就職活動や職場において不利な扱いを受けること	49.4%	46.4%	43.5%	34.5%	38.7%	36.5%
施設サービスが十分でないこと	15.3%	20.0%	19.8%	20.6%	29.7%	23.0%
在宅サービスが十分でないこと	9.4%	11.2%	9.7%	12.1%	16.1%	10.0%
病院や施設で本人の意思に反して自由を制限したりすること	14.1%	16.8%	12.6%	13.3%	12.9%	17.5%
知的障害（がい）者、精神障害（がい）者等で判断能力が十分でない者に財産管理等経済生活をめぐる権利侵害があること	16.5%	15.2%	21.7%	16.4%	19.4%	16.5%
道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障があること	29.4%	31.2%	38.6%	34.5%	34.2%	36.0%
スポーツ、レクリエーション、文化・芸術活動への参加の機会が少ないこと	16.5%	12.0%	9.7%	9.7%	7.7%	16.0%
結婚の際、周囲から反対を受けること	16.5%	12.8%	8.2%	9.1%	7.1%	7.0%
わからない	4.7%	5.6%	7.2%	9.7%	11.0%	12.5%
その他	1.2%	3.2%	1.9%	4.8%	1.3%	1.5%
無回答	1.2%	0.8%	1.0%	1.8%	2.6%	6.5%

**問 16 あなたは、障害(がい)者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いま  
すか。次の中から3つまでお選びください。**

「障害(がい)のある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」が49.1%で最も高く、次いで「学校教育の中で、障害(がい)者理解教育を充実する」が48.4%、「障害(がい)者の就職機会を確保する」が35.3%と続いている。

前回調査と比較すると、「障害(がい)のある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」が7.0ポイント増加、「学校教育の中で、障害(がい)者理解教育を充実する」が5.4ポイント増加している。



※「障害(がい)者のための各種相談体制を充実する」の選択肢は、前回は「障害(がい)者のための各種相談機能を充実する」となっている。また、「看護・介護に関する情報を細かく広報する」の選択肢は、前回は「看護に関する情報を細かく広報する」となっている。

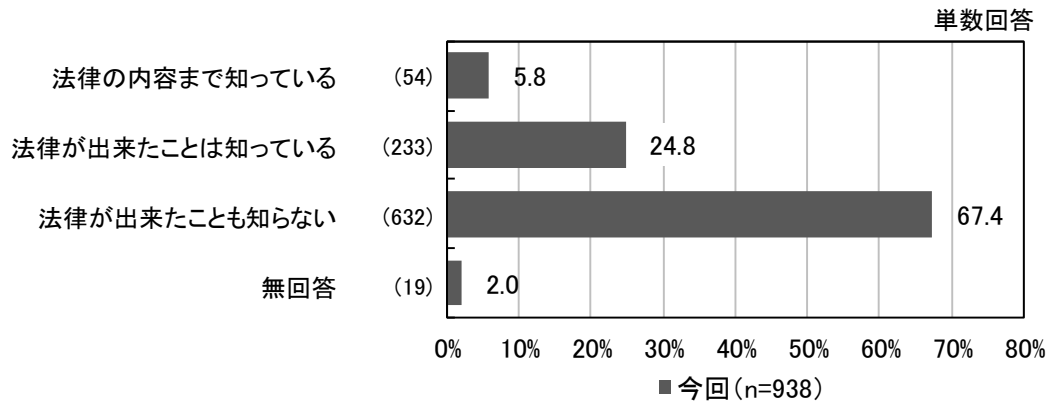
## 【年齢別】

年齢別で見ると、18～39歳で「学校教育の中で、障害（がい）者理解教育を充実する」、50歳以上で「障害（がい）のある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」がそれぞれ最も高くなっている。40～49歳では「障害（がい）のある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」と「学校教育の中で、障害（がい）者理解教育を充実する」が共に最も高くなっている。また、18～29歳で「障害（がい）者の就職機会を確保する」が44.7%、70歳以上で「障害（がい）者のための各種相談体制を充実する」が36.0%と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
障害（がい）者のための各種相談体制を充実する	17.6%	21.6%	25.1%	26.1%	28.4%	36.0%
障害（がい）者の人権を守るための啓発活動を推進する	10.6%	20.0%	15.5%	18.8%	21.9%	22.0%
障害（がい）者の就職機会を確保する	44.7%	35.2%	33.3%	33.9%	38.7%	32.0%
成年後見制度など、障害（がい）のある人の権利と財産を守るための制度の利用を促進する	11.8%	16.8%	19.8%	16.4%	16.1%	13.0%
障害（がい）のある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する	36.5%	47.2%	50.2%	50.3%	52.9%	50.5%
障害（がい）のある人がスポーツや文化活動などに参加しやすくする	15.3%	12.0%	13.5%	11.5%	10.3%	18.0%
障害（がい）のある人とないない人との交流を促進する	28.2%	31.2%	32.9%	23.0%	21.9%	16.5%
学校教育の中で、障害（がい）者理解教育を充実する	55.3%	53.6%	50.2%	44.8%	46.5%	45.0%
病院や施設の職員の研修を充実する	16.5%	7.2%	14.0%	9.7%	12.9%	15.0%
わからない	7.1%	4.0%	4.8%	5.5%	7.1%	6.0%
その他	3.5%	4.0%	1.9%	4.2%	1.3%	1.0%
無回答	1.2%	0.0%	1.0%	1.8%	1.9%	6.0%

**問 17 平成28年4月に、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。あなたは、この法律をご存知ですか。次の中から1つお選びください。**

「法律が出来たことも知らない」が67.4%で最も高く、次いで「法律が出来たことは知っている」が24.8%、「法律の内容まで知っている」が5.8%と続いている。



**【年齢別】**

年齢別で見ると、すべての年代で「法律が出来たことも知らない」が最も高く、特に18～49歳では70%台と高くなっている。また、30～39歳で「法律の内容まで知っている」が10.4%と他の年代に比べて高くなっている。

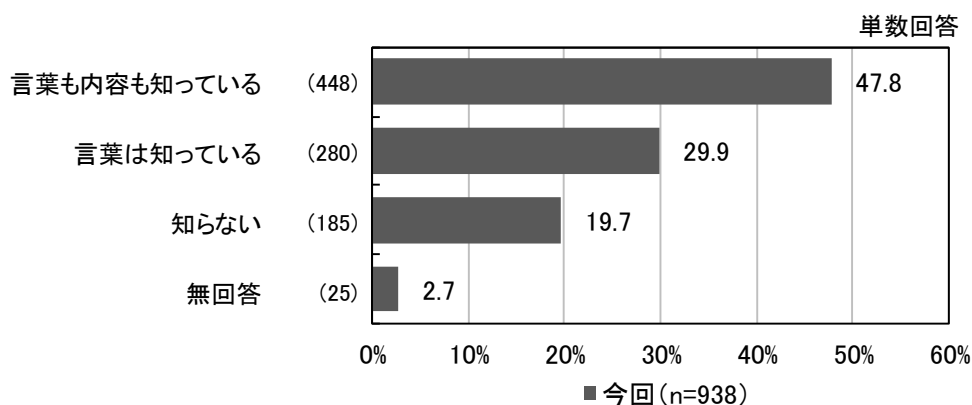
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
法律の内容まで知っている	7.1%	10.4%	7.2%	4.8%	6.5%	1.0%
法律が出来たことは知っている	17.6%	13.6%	18.8%	24.8%	27.7%	39.0%
法律が出来たことも知らない	74.1%	76.0%	73.4%	69.1%	63.9%	54.0%
無回答	1.2%	0.0%	0.5%	1.2%	1.9%	6.0%



## 6. 同和問題について

問 18 あなたは、同和問題について知っていますか。次の中から1つお選びください。

「言葉も内容も知っている」が47.8%で最も高く、次いで「言葉は知っている」が29.9%、「知らない」が19.7%と続いている。



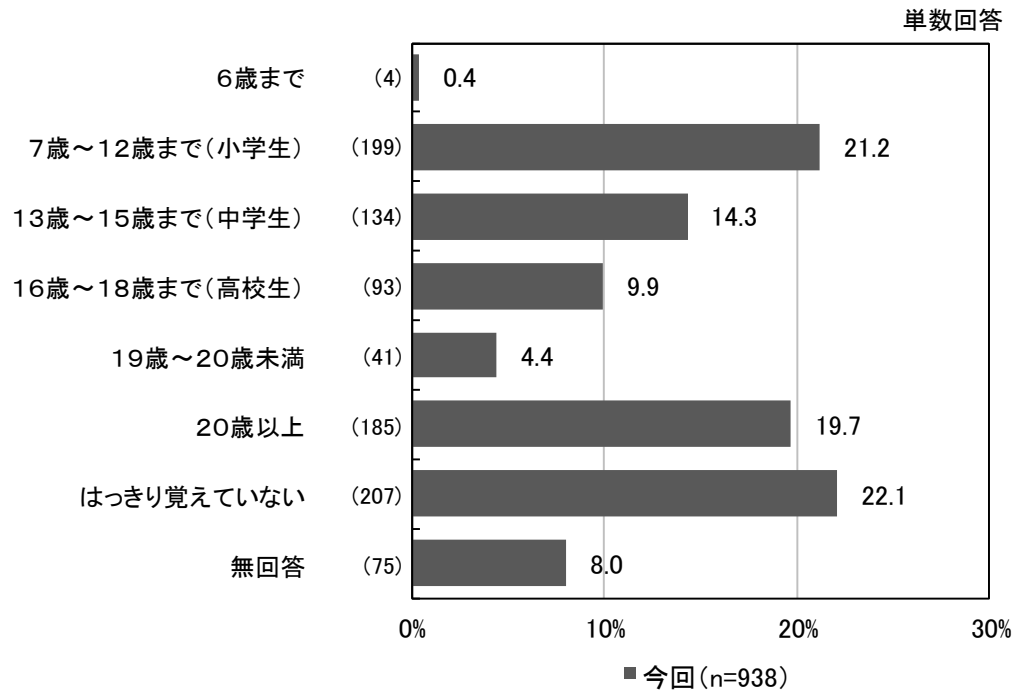
### 【年齢別】

年齢別で見ると、18～29歳で「知らない」、30歳以上で「言葉も内容も知っている」がそれぞれ最も高くなっている。また、18～29歳で「言葉も内容も知っている」は約30%に留まっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
言葉も内容も知っている	29.4%	46.4%	43.5%	56.4%	53.5%	49.0%
言葉は知っている	21.2%	24.8%	35.7%	25.5%	29.7%	34.5%
知らない	48.2%	27.2%	20.3%	15.8%	15.5%	9.0%
無回答	1.2%	1.6%	0.5%	2.4%	1.3%	7.5%

問 19 あなたが同和問題について初めて知ったのは、いつ頃ですか。次の中から1つお選びください。

「はっきり覚えていない」が22.1%で最も高く、次いで「7歳～12歳まで（小学生）」が21.2%、「20歳以上」が19.7%と続いている。



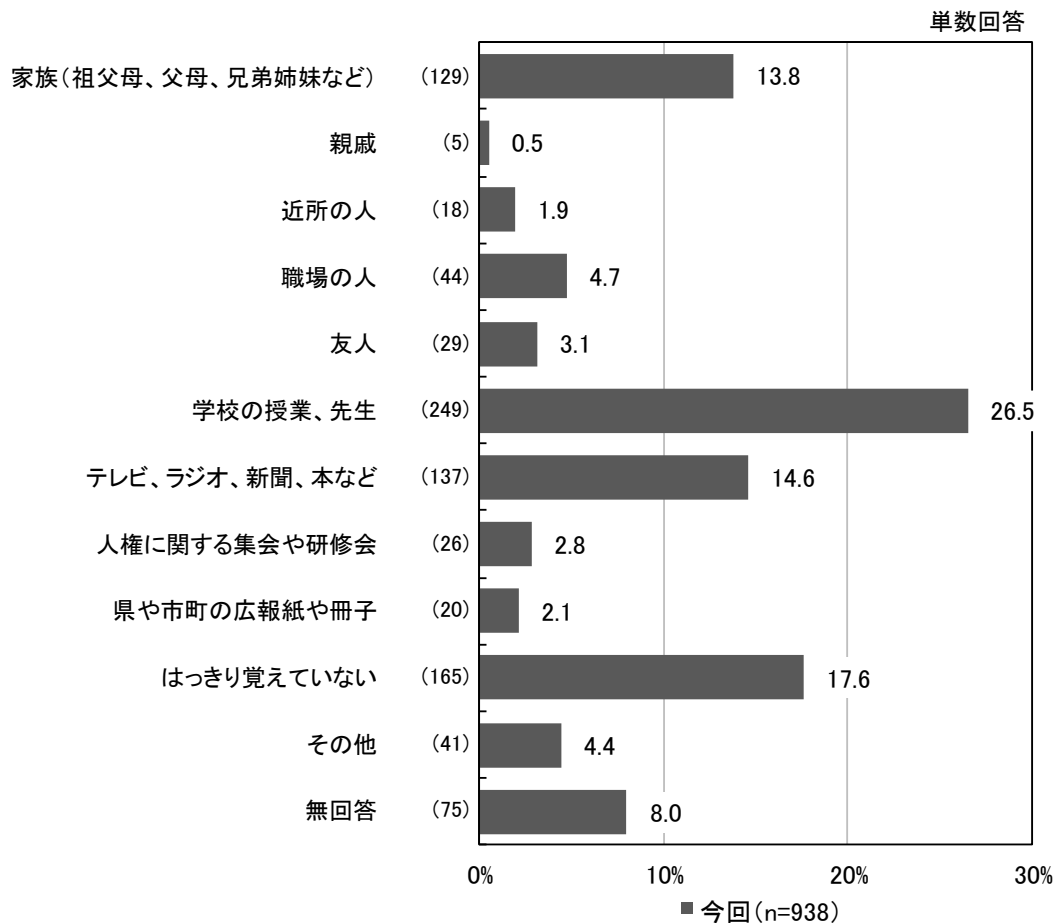
## 【年齢別】

年齢別で見ると、18～29歳で「はっきり覚えていない」、30～59歳で「7歳～12歳まで（小学生）」、60～69歳で「13歳～15歳まで（中学生）」と「20歳以上」、70歳以上で「20歳以上」がそれぞれ最も高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
6歳まで	0.0%	0.0%	0.5%	0.6%	0.0%	1.0%
7歳～12歳まで（小学生）	7.1%	30.4%	35.3%	28.5%	11.6%	8.5%
13歳～15歳まで（中学生）	11.8%	8.8%	12.6%	18.2%	20.6%	12.5%
16歳～18歳まで（高校生）	8.2%	5.6%	4.8%	7.3%	17.4%	15.0%
19歳～20歳未満	5.9%	1.6%	1.9%	4.2%	7.1%	6.0%
20歳以上	16.5%	23.2%	15.0%	17.6%	20.6%	24.5%
はっきり覚えていない	38.8%	20.8%	22.7%	17.6%	18.1%	22.0%
無回答	11.8%	9.6%	7.2%	6.1%	4.5%	10.5%

問 20 あなたが同和問題について初めて知ったのは、誰(なに)からですか。次の中から1つお選びください。

「学校の授業、先生」が26.5%で最も高く、次いで「はっきり覚えていない」が17.6%、「テレビ、ラジオ、新聞、本など」が14.6%と続いている。



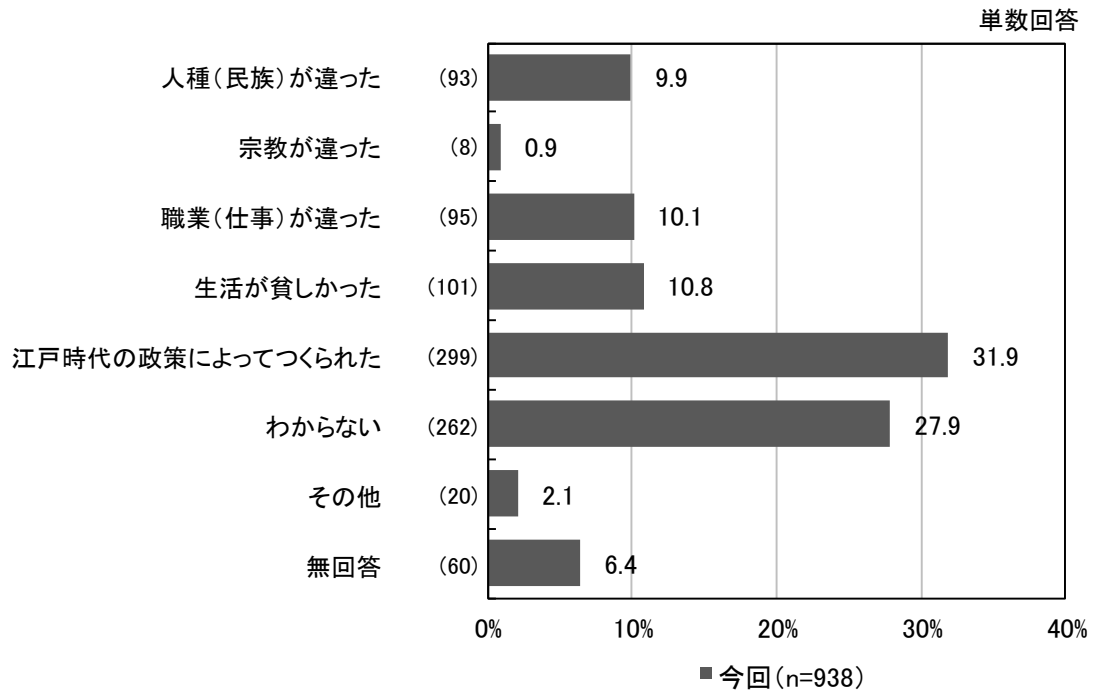
## 【年齢別】

年齢別で見ると、18～29歳で「はっきり覚えていない」、30～69歳で「学校の授業、先生」、70歳以上で「テレビ、ラジオ、新聞、本など」がそれぞれ最も高くなっている。また、60～69歳で「家族（祖父母、父母、兄弟姉妹など）」が21.3%と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
家族（祖父母、父母、兄弟姉妹など）	11.8%	3.2%	11.1%	17.6%	21.3%	15.0%
親戚	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	1.3%	1.0%
近所の人	0.0%	0.0%	1.0%	0.6%	3.9%	4.5%
職場の人	0.0%	3.2%	2.4%	7.9%	4.5%	7.5%
友人	0.0%	0.8%	1.4%	4.2%	3.9%	6.0%
学校の授業、先生	21.2%	38.4%	40.6%	32.1%	21.9%	6.0%
テレビ、ラジオ、新聞、本など	9.4%	11.2%	11.6%	12.1%	14.2%	24.5%
人権に関する集会や研修会	2.4%	1.6%	0.5%	0.6%	5.2%	5.5%
県や市町の広報紙や冊子	3.5%	1.6%	0.5%	1.8%	1.9%	4.0%
はっきり覚えていない	30.6%	21.6%	17.9%	13.3%	14.2%	15.5%
その他	8.2%	8.8%	5.3%	3.0%	3.2%	1.0%
無回答	12.9%	9.6%	7.7%	6.1%	4.5%	9.5%

問 21 あなたは同和問題の起こりについて、どのように受けとめていますか。次の中から1つお選びください。

「江戸時代の政策によってつくられた」が 31.9%で最も高く、次いで「わからない」が 27.9%、「生活が貧しかった」が 10.8%と続いている。



## 【年齢別】

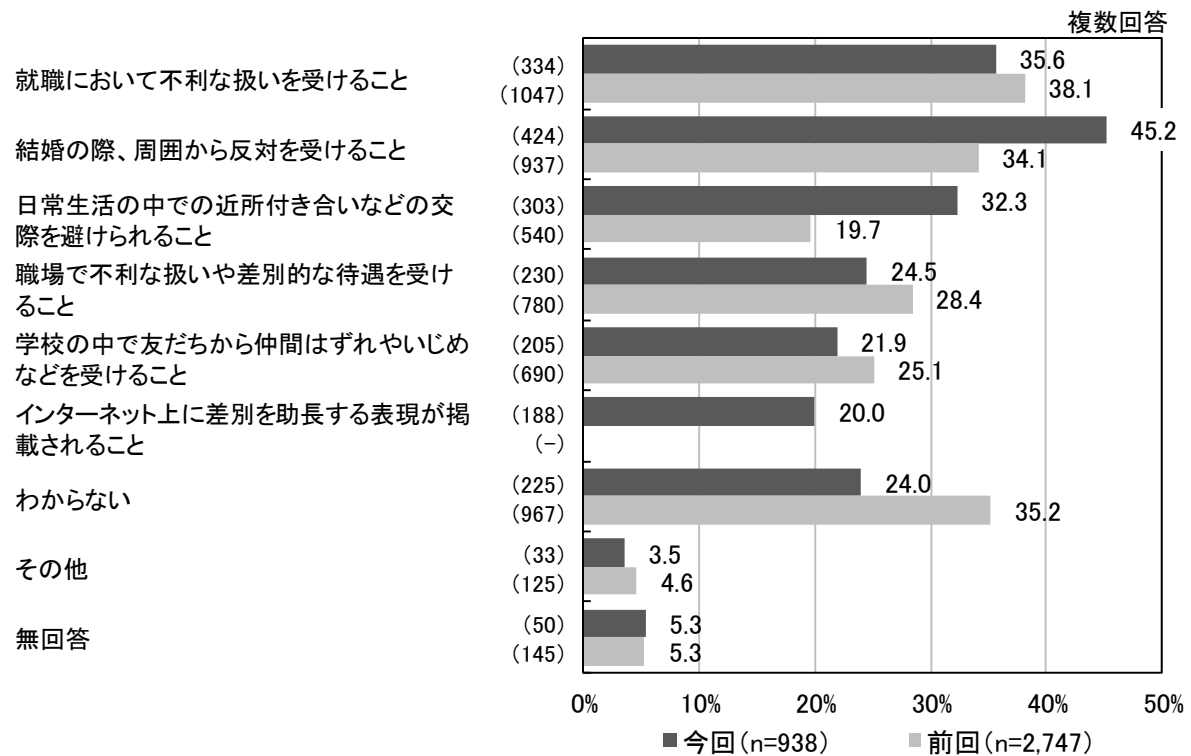
年齢別で見ると、18～49歳で「わからない」、50歳以上で「江戸時代の政策によってつくられた」がそれぞれ最も高くなっている。特に、18～29歳で「わからない」が43.5%と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
人種（民族）が違った	12.9%	10.4%	8.2%	7.3%	8.4%	13.5%
宗教が違った	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	1.9%	1.0%
職業（仕事）が違った	7.1%	4.8%	8.7%	6.1%	12.9%	17.5%
生活が貧しかった	7.1%	12.8%	13.0%	12.7%	14.2%	4.5%
江戸時代の政策によってつくられた	17.6%	28.0%	29.5%	43.0%	31.6%	33.5%
わからない	43.5%	35.2%	30.9%	24.2%	24.5%	19.5%
その他	2.4%	1.6%	2.9%	1.8%	2.6%	1.5%
無回答	9.4%	7.2%	5.3%	4.8%	3.9%	9.0%

**問 22 同和問題に関する事柄で、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。**

「結婚の際、周囲から反対を受けること」が45.2%で最も高く、次いで「就職において不利な扱いを受けること」が35.6%、「日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること」が32.3%と続いている。

前回調査と比較すると、「日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること」が12.6ポイント増加、「結婚の際、周囲から反対を受けること」が11.1ポイント増加、「わからない」が11.2ポイント減少している。



※「インターネット上に差別を助長する表現が掲載されること」という選択肢は、今回から追加されたものである。

※「日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること」の選択肢は、前回は「日常生活の中で交際を避けられること」となっている。



## 【年齢別】

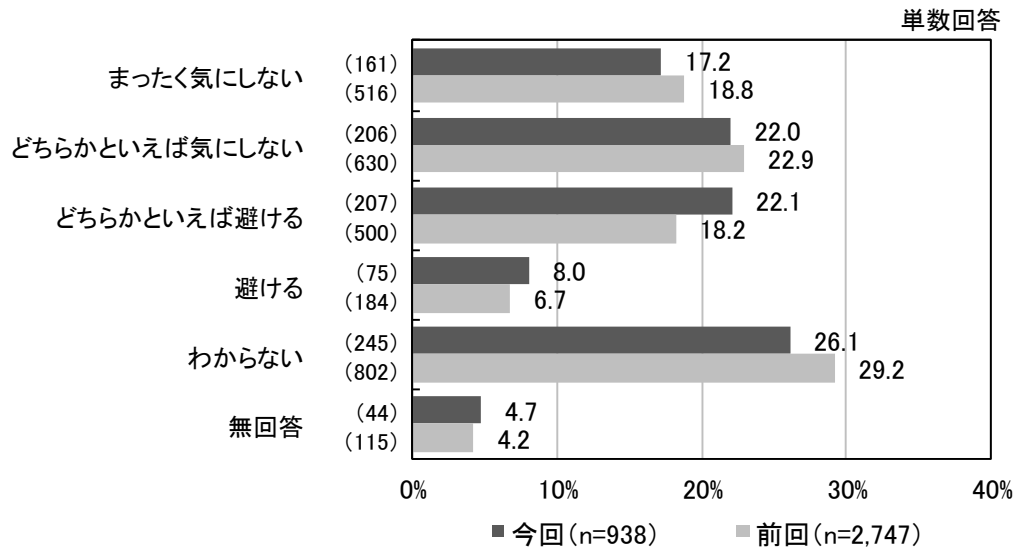
年齢別で見ると、18～29歳で「わからない」、30歳以上で「結婚の際、周囲から反対を受けること」がそれぞれ最も高くなっている。また、40～59歳で「インターネット上に差別を助長する表現が掲載されること」が20%台、70歳以上で「日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること」が30%台後半と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
就職において不利な扱いを受けること	29.4%	37.6%	36.7%	32.7%	39.4%	35.0%
結婚の際、周囲から反対を受けること	30.6%	41.6%	44.9%	41.8%	52.3%	51.5%
日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること	22.4%	32.0%	32.4%	32.1%	31.0%	37.5%
職場で不利な扱いや差別的な待遇を受けること	31.8%	25.6%	27.1%	24.2%	18.7%	22.5%
学校の中で友だちから仲間はずれやいじめなどを受けること	14.1%	26.4%	25.6%	23.0%	16.8%	21.5%
インターネット上に差別を助長する表現が掲載されること	18.8%	17.6%	25.6%	23.6%	17.4%	15.5%
わからない	36.5%	20.0%	23.7%	23.6%	26.5%	20.0%
その他	0.0%	2.4%	4.3%	5.5%	4.5%	2.5%
無回答	7.1%	6.4%	2.9%	3.6%	1.9%	10.5%

**問 23 あなたは、住宅や生活環境を選ぶ際に、同和地区であった場合、避けることがあると思いますか。次の中から1つお選びください。**

「わからない」が26.1%で最も高く、次いで「どちらかといえば避ける」が22.1%、「どちらかといえば気にしない」が22.0%と続いている。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



**【年齢別】**

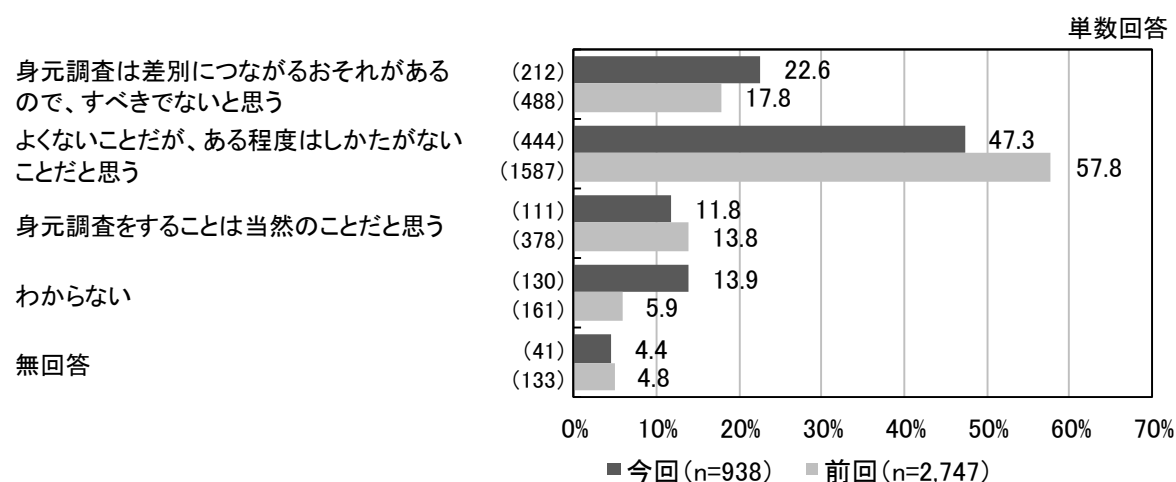
年齢別で見ると、18～29歳で「わからない」が45.9%、30～39歳で「まったく気にしない」が26.4%と他の年代に比べて高くなっている。その他の年代では、年代によって回答にばらつきが見られる。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
まったく気にしない	12.9%	26.4%	16.9%	15.2%	16.8%	15.5%
どちらかといえば気にしない	21.2%	14.4%	19.3%	20.0%	25.2%	28.5%
どちらかといえば避ける	10.6%	18.4%	25.1%	26.7%	22.6%	22.0%
避ける	3.5%	10.4%	11.6%	8.5%	6.5%	5.5%
わからない	45.9%	24.8%	23.7%	26.1%	27.7%	20.0%
無回答	5.9%	5.6%	3.4%	3.6%	1.3%	8.5%

**問 24 あなたは、結婚や就職時の身元調査について、どのようにお考えですか。次の中から1つお選びください。**

「よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う」が47.3%で最も高く、次いで「身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う」が22.6%、「わからない」が13.9%と続いている。

前回調査と比較すると、「わからない」が8.0ポイント増加、「よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う」が10.5ポイント減少している。



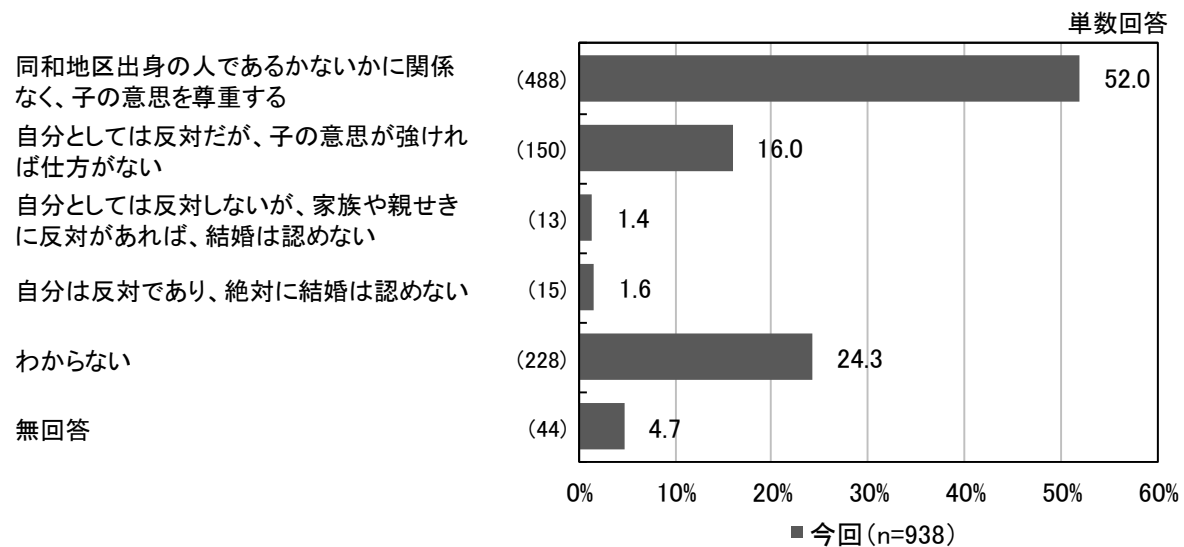
**【年齢別】**

年齢別で見ると、すべての年代で「よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う」が最も高く、特に18～29歳と50～59歳で50%台と高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う	15.3%	22.4%	28.5%	16.4%	26.5%	22.0%
よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う	50.6%	45.6%	45.4%	54.5%	47.1%	43.0%
身元調査をすることは当然のことだと思う	11.8%	11.2%	9.7%	12.1%	10.3%	15.5%
わからない	17.6%	14.4%	13.0%	14.5%	14.8%	11.5%
無回答	4.7%	6.4%	3.4%	2.4%	1.3%	8.0%

**問 25 あなたのお子さんが同和地区出身の人と結婚しようとした場合、あなたはどのように対応しますか。次の中から1つお選びください。**

「同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する」が52.0%で最も高く、次いで「わからない」が24.3%、「自分としては反対だが、子の意思が強ければ仕方がない」が16.0%と続いている。



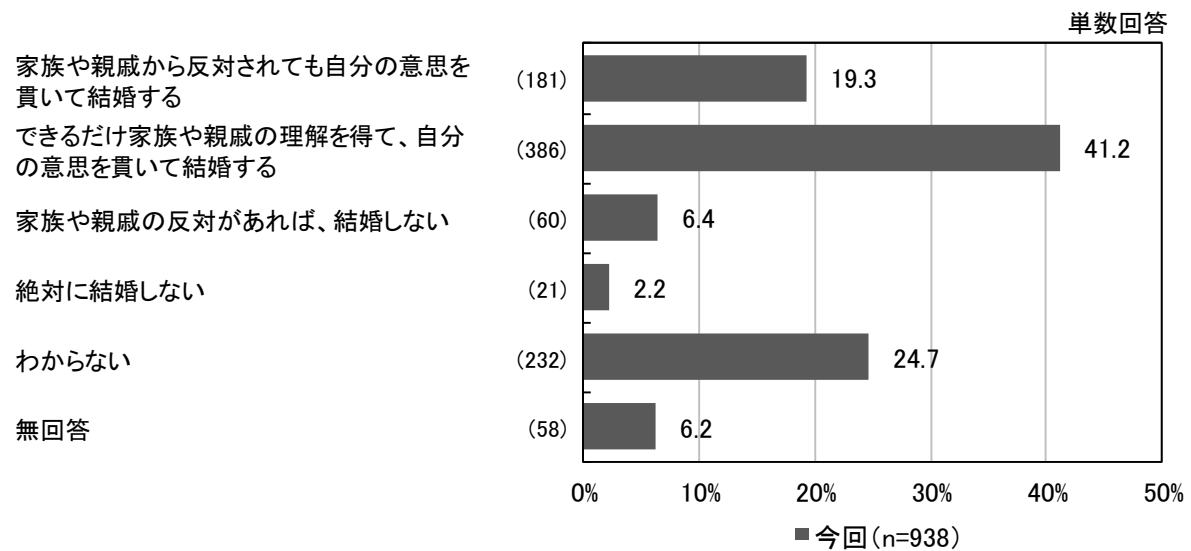
**【年齢別】**

年齢別で見ると、すべての年代で「同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する」が最も高くなっている。また、70歳以上で「自分としては反対だが、子の意思が強ければ仕方がない」が24.5%と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する	47.1%	59.2%	53.6%	46.1%	56.8%	49.0%
自分としては反対だが、子の意思が強ければ仕方がない	7.1%	13.6%	15.0%	14.5%	14.8%	24.5%
自分としては反対しないが、家族や親せきに反対があれば、結婚は認めない	0.0%	0.8%	1.9%	2.4%	1.9%	0.5%
自分は反対であり、絶対に結婚は認めない	1.2%	0.8%	2.4%	1.8%	1.9%	1.0%
わからない	37.6%	20.8%	24.2%	31.5%	23.2%	16.0%
無回答	7.1%	4.8%	2.9%	3.6%	1.3%	9.0%

**問 26 あなたが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であるとわかった場合、あなたはどのようにされますか。次の中から1つお選びください。**

「できるだけ家族や親戚の理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する」が41.2%で最も高く、次いで「わからない」が24.7%、「家族や親戚から反対されても自分の意思を貫いて結婚する」が19.3%と続いている。



**【年齢別】**

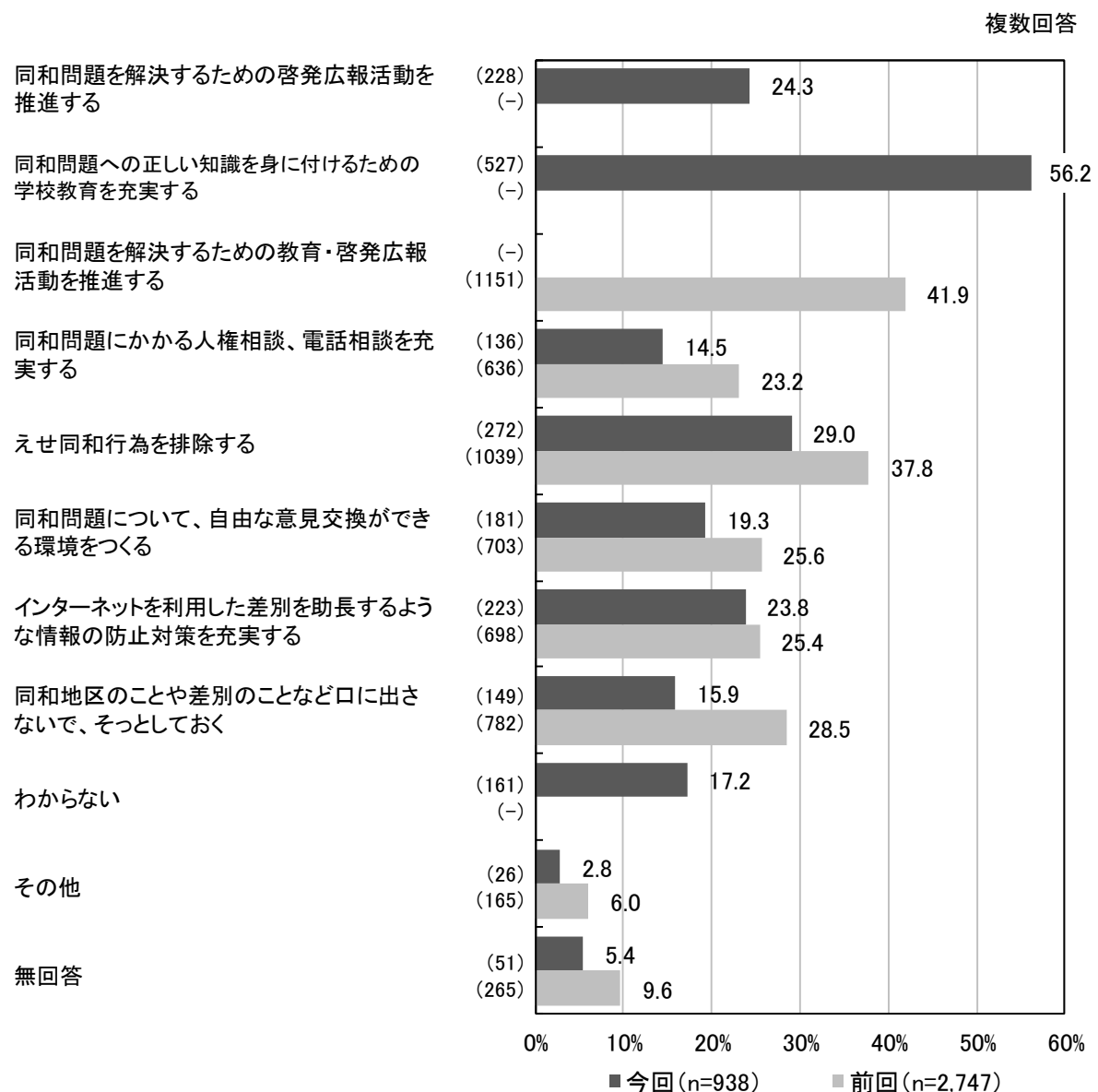
年齢別で見ると、すべての年代で「できるだけ家族や親戚の理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する」が最も高く、特に30～49歳で40%台と高くなっている。また、18～29歳で「わからない」が36.5%と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
家族や親戚から反対されても自分の意思を貫いて結婚する	15.3%	21.6%	18.8%	21.8%	23.2%	15.0%
できるだけ家族や親戚の理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する	38.8%	48.8%	46.4%	37.6%	36.8%	38.0%
家族や親戚の反対があれば、結婚しない	1.2%	1.6%	5.8%	8.5%	5.8%	11.0%
絶対に結婚しない	1.2%	1.6%	2.4%	2.4%	3.2%	2.0%
わからない	36.5%	22.4%	21.3%	25.5%	26.5%	23.0%
無回答	7.1%	4.0%	5.3%	4.2%	4.5%	11.0%

**問 27 あなたは、同和問題を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。**

「同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する」が 56.2%で最も高く、次いで「えせ同和行為を排除する」が 29.0%、「同和問題を解決するための啓発広報活動を推進する」が 24.3%と続いている。

前回調査と比較すると、「同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておく」が 12.6 ポイント減少、「えせ同和行為を排除する」が 8.8 ポイント減少、「同和問題にかかる人権相談、電話相談を充実する」が 8.7 ポイント減少、「同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる」が 6.3 ポイント減少している。



※「同和問題を解決するための啓発広報活動を推進する」と「同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する」の選択肢は、前回は「同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する」となっているため、今回は別々に掲載している。

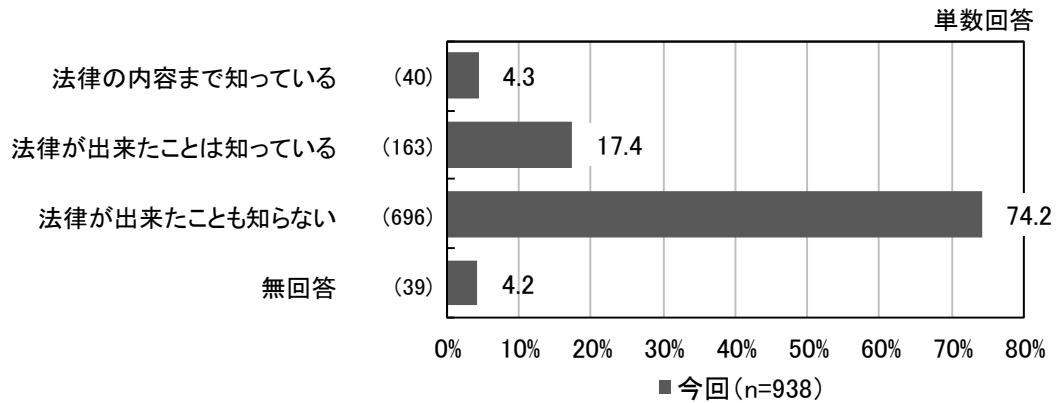
## 【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する」が最も高く、特に40～49歳で61.8%と高くなっている。また、40～69歳で「えせ同和行為を排除する」が30%台、50～59歳で「インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する」が30%台、18～29歳で「わからない」が30%台と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
同和問題を解決するための啓発広報活動を推進する	15.3%	21.6%	23.2%	23.6%	25.8%	30.0%
同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する	51.8%	58.4%	61.8%	56.4%	55.5%	51.0%
同和問題にかかる人権相談、電話相談を充実する	14.1%	16.0%	14.5%	11.5%	17.4%	14.0%
えせ同和行為を排除する	18.8%	22.4%	31.4%	39.4%	32.3%	24.0%
同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる	10.6%	12.0%	16.4%	12.1%	22.6%	33.5%
インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する	16.5%	20.8%	24.2%	30.3%	28.4%	19.5%
同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておく	11.8%	13.6%	14.0%	11.5%	19.4%	22.0%
わからない	32.9%	18.4%	14.5%	15.8%	15.5%	15.0%
その他	1.2%	4.0%	4.8%	2.4%	0.6%	2.5%
無回答	7.1%	4.8%	4.3%	3.6%	3.2%	9.5%

問 28 平成28年12月に、「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。あなたは、この法律をご存知ですか。次の中から1つお選びください。

「法律が出来たことも知らない」が74.2%で最も高く、次いで「法律が出来たことは知っている」が17.4%、「法律の内容まで知っている」が4.3%と続いている。



**【年齢別】**

年齢別で見ると、すべての年代で「法律が出来たことも知らない」が最も高く、特に30～59歳で80%台と高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
法律の内容まで知っている	2.4%	5.6%	4.3%	4.2%	5.8%	3.0%
法律が出来たことは知っている	22.4%	6.4%	9.2%	10.9%	23.2%	31.5%
法律が出来たことも知らない	74.1%	86.4%	82.6%	81.8%	67.7%	56.5%
無回答	1.2%	1.6%	3.9%	3.0%	3.2%	9.0%

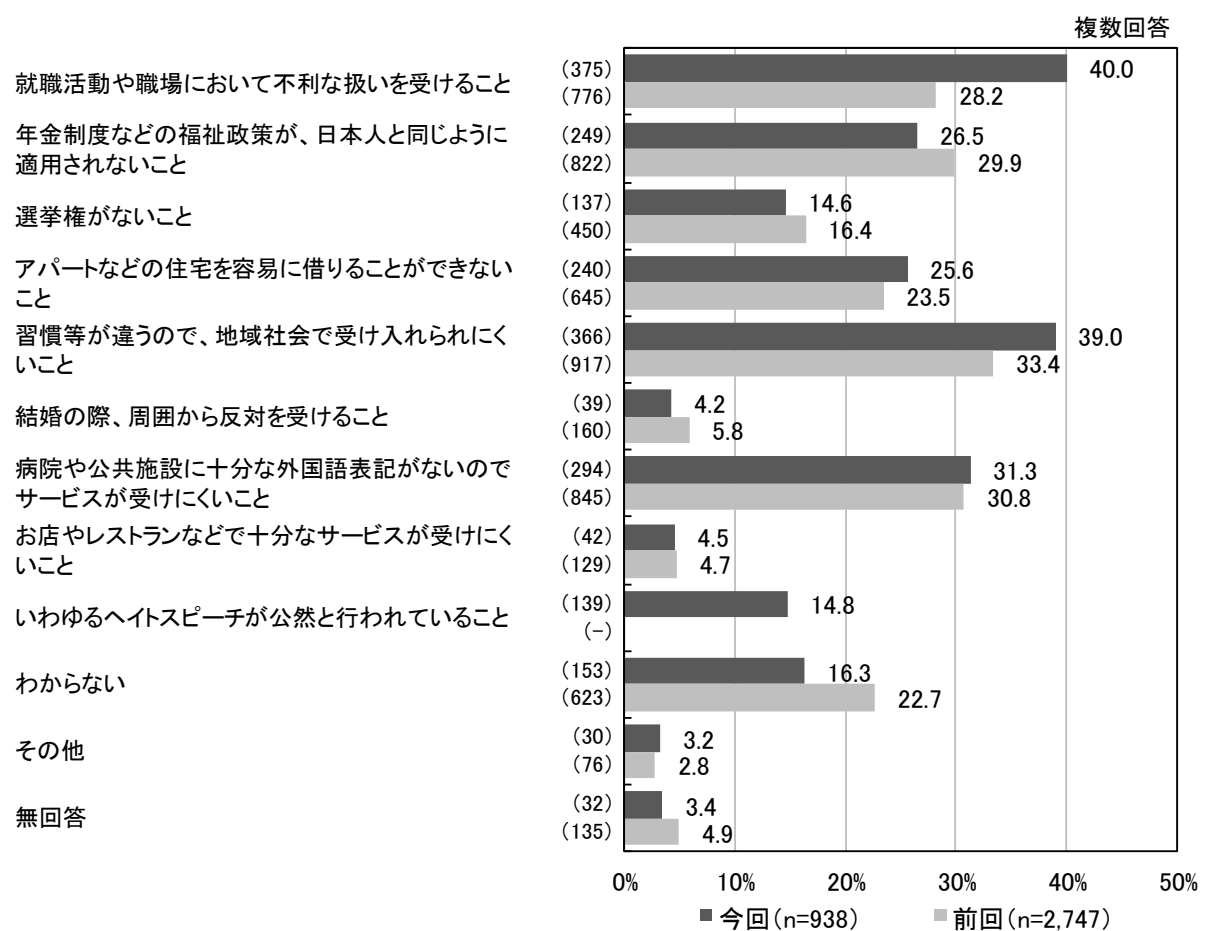


## 7. 外国人に関する人権について

問 29 日本に居住している外国人に関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」が40.0%で最も高く、次いで「習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと」が39.0%、「病院や公共施設に十分な外国語表記がないのでサービスが受けにくいこと」が31.3%と続いている。

前回調査と比較すると、「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」が11.8ポイント増加、「習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと」が5.6ポイント増加、「わからない」が6.4ポイント減少している。



※「いわゆるヘイトスピーチが公然と行われていること」という選択肢は、今回から追加されたものである。

※「年金制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されないこと」の選択肢は、前は「年金や医療保険制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されないこと」となっている。

## 【年齢別】

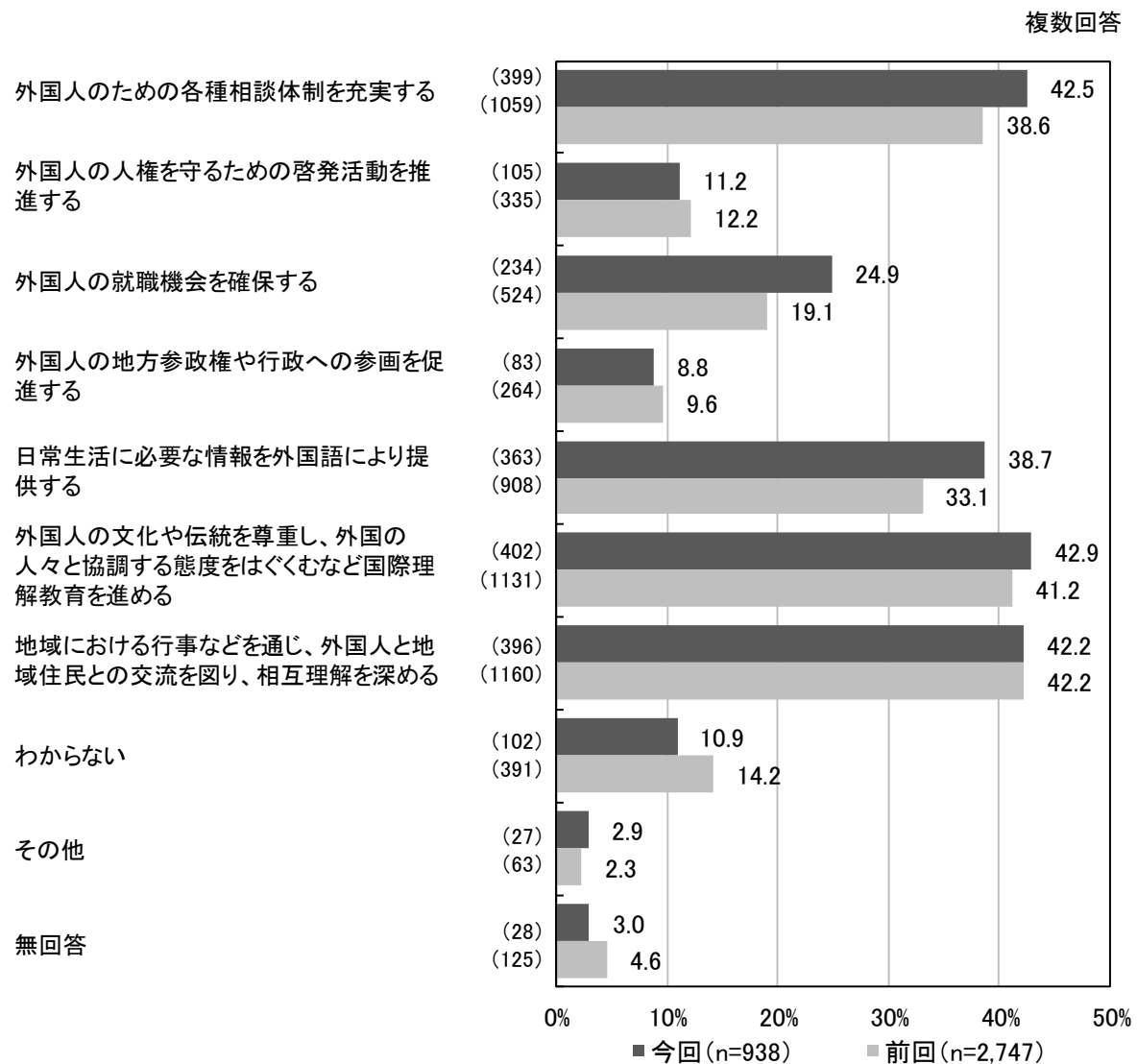
年齢別で見ると、18～39歳と50～59歳で「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」、40～49歳と60歳以上で「習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと」がそれぞれ最も高くなっている。また、18～29歳で「選挙権がないこと」が24.7%、「結婚の際、周囲から反対を受けること」が10.6%と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
就職活動や職場において不利な扱いを受けること	40.0%	38.4%	37.2%	46.7%	41.9%	36.5%
年金制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されないこと	34.1%	28.8%	22.7%	25.5%	22.6%	30.0%
選挙権がないこと	24.7%	16.8%	15.0%	11.5%	11.0%	14.0%
アパートなどの住宅を容易に借りることができないこと	28.2%	26.4%	29.5%	24.2%	25.2%	21.5%
習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと	34.1%	29.6%	39.1%	42.4%	44.5%	39.5%
結婚の際、周囲から反対を受けること	10.6%	2.4%	2.4%	3.0%	1.3%	7.5%
病院や公共施設に十分な外国語表記がないのでサービスが受けにくいこと	28.2%	36.8%	33.3%	26.1%	29.7%	32.5%
お店やレストランなどで十分なサービスが受けにくいこと	11.8%	9.6%	4.3%	2.4%	3.2%	1.0%
いわゆるヘイトスピーチが公然と行われていること	14.1%	16.8%	16.4%	13.9%	15.5%	12.5%
わからない	14.1%	9.6%	15.5%	15.2%	21.9%	19.0%
その他	2.4%	4.8%	2.9%	2.4%	4.5%	2.5%
無回答	0.0%	0.8%	3.4%	0.6%	3.2%	9.0%

**問 30 あなたは、日本に居住している外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。**

「外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど国際理解教育を進める」が42.9%で最も高く、次いで「外国人のための各種相談体制を充実する」が42.5%、「地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める」が42.2%と続いている。

前回調査と比較すると、「外国人の就職機会を確保する」が5.8ポイント増加、「日常生活に必要な情報を外国語により提供する」が5.6ポイント増加している。



※「外国人のための各種相談体制を充実する」の選択肢は、前は「外国人のための各種相談機能を充実する」となっている。

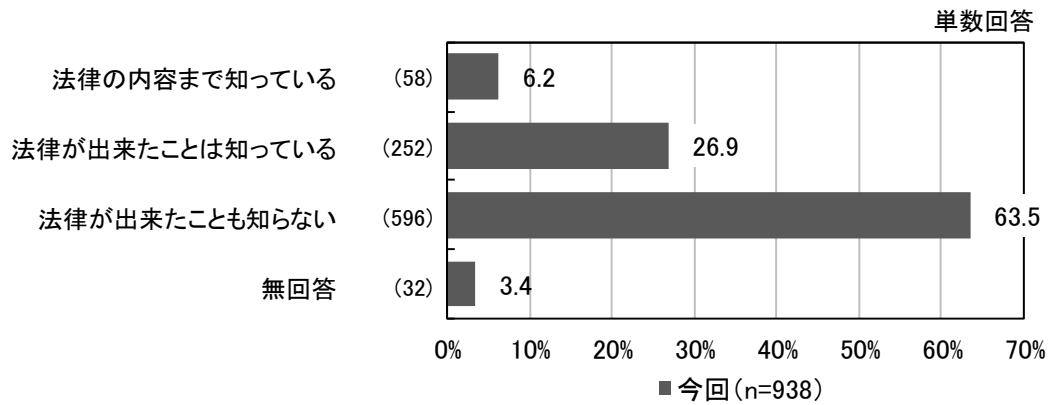
## 【年齢別】

年齢別で見ると、18～29歳で「外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど国際理解教育を進める」、30～39歳で「日常生活に必要な情報を外国語により提供する」、40～49歳で「地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める」、50歳以上で「外国人のための各種相談体制を充実する」がそれぞれ最も高くなっている。また、18～39歳で「外国人の就職機会を確保する」が30%台と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
外国人のための各種相談体制を充実する	36.5%	32.8%	38.2%	46.7%	49.0%	47.0%
外国人の人権を守るための啓発活動を推進する	9.4%	10.4%	11.6%	9.7%	13.5%	11.5%
外国人の就職機会を確保する	36.5%	31.2%	24.6%	23.6%	20.0%	21.5%
外国人の地方参政権や行政への参画を促進する	16.5%	11.2%	9.2%	7.9%	6.5%	6.5%
日常生活に必要な情報を外国語により提供する	40.0%	41.6%	38.6%	36.4%	41.9%	36.0%
外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど国際理解教育を進める	47.1%	37.6%	44.9%	41.2%	42.6%	43.5%
地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める	35.3%	39.2%	45.9%	38.2%	43.2%	45.5%
わからない	10.6%	10.4%	9.7%	9.1%	11.6%	13.5%
その他	1.2%	4.0%	3.4%	4.8%	3.2%	0.5%
無回答	0.0%	0.8%	2.9%	0.6%	3.2%	7.5%

問 31 平成28年6月に、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」(ヘイトスピーチ解消法)が施行されました。あなたは、この法律をご存知ですか。次の中から1つお選びください。

「法律が出来たことも知らない」が63.5%で最も高く、次いで「法律が出来たことは知っている」が26.9%、「法律の内容まで知っている」が6.2%と続いている。



### 【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「法律が出来たことも知らない」が最も高く、特に18～29歳と40～49歳で約70%と高くなっている。

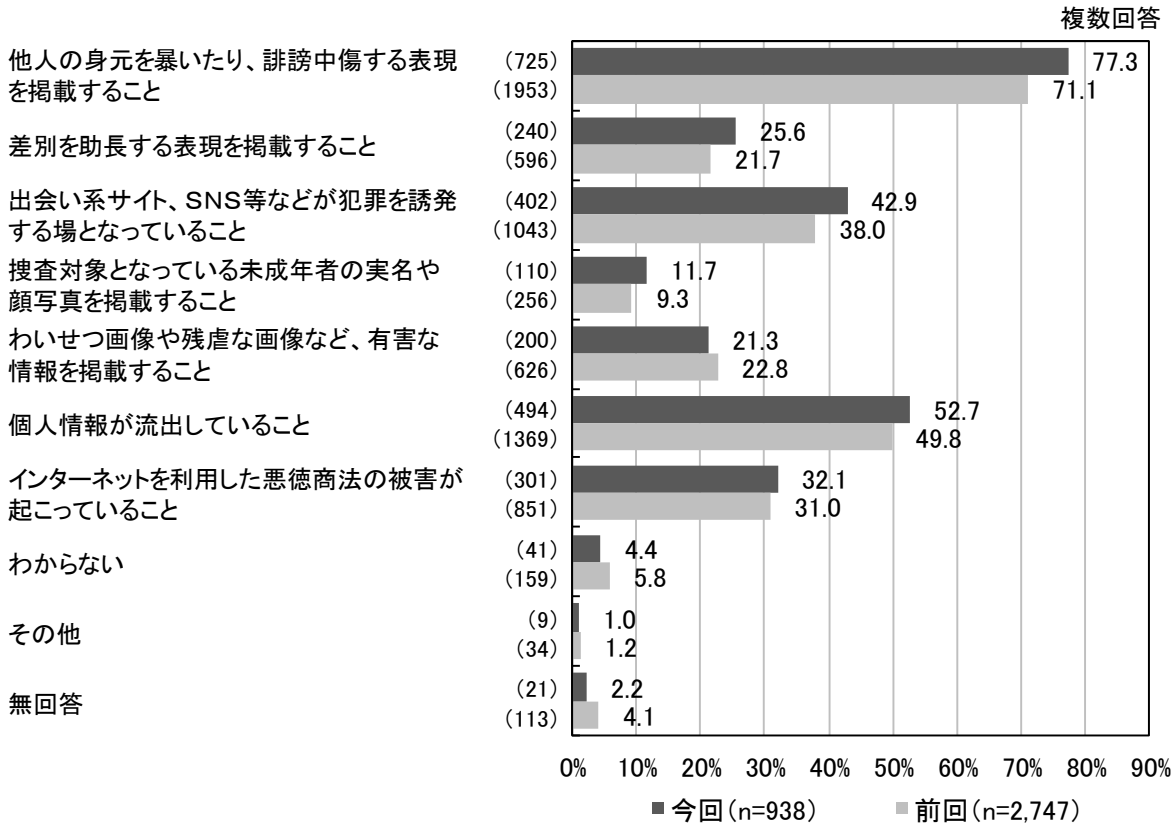
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
法律の内容まで知っている	4.7%	9.6%	5.8%	6.7%	6.5%	4.5%
法律が出来たことは知っている	25.9%	23.2%	22.2%	31.5%	27.7%	29.5%
法律が出来たことも知らない	69.4%	67.2%	69.6%	61.2%	62.6%	55.5%
無回答	0.0%	0.0%	2.4%	0.6%	3.2%	10.5%

## 8. インターネットによる人権侵害について

問 32 インターネットに関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

「他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること」が77.3%で最も高く、次いで「個人情報が流出していること」が52.7%、「出会い系サイト、SNS等などが犯罪を誘発する場となっていること」が42.9%と続いている。

前回調査と比較すると、「他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること」が6.2ポイント増加している。



※「出会い系サイト、SNS等などが犯罪を誘発する場となっていること」の選択肢は、前回は「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」となっている。

## 【年齢別】

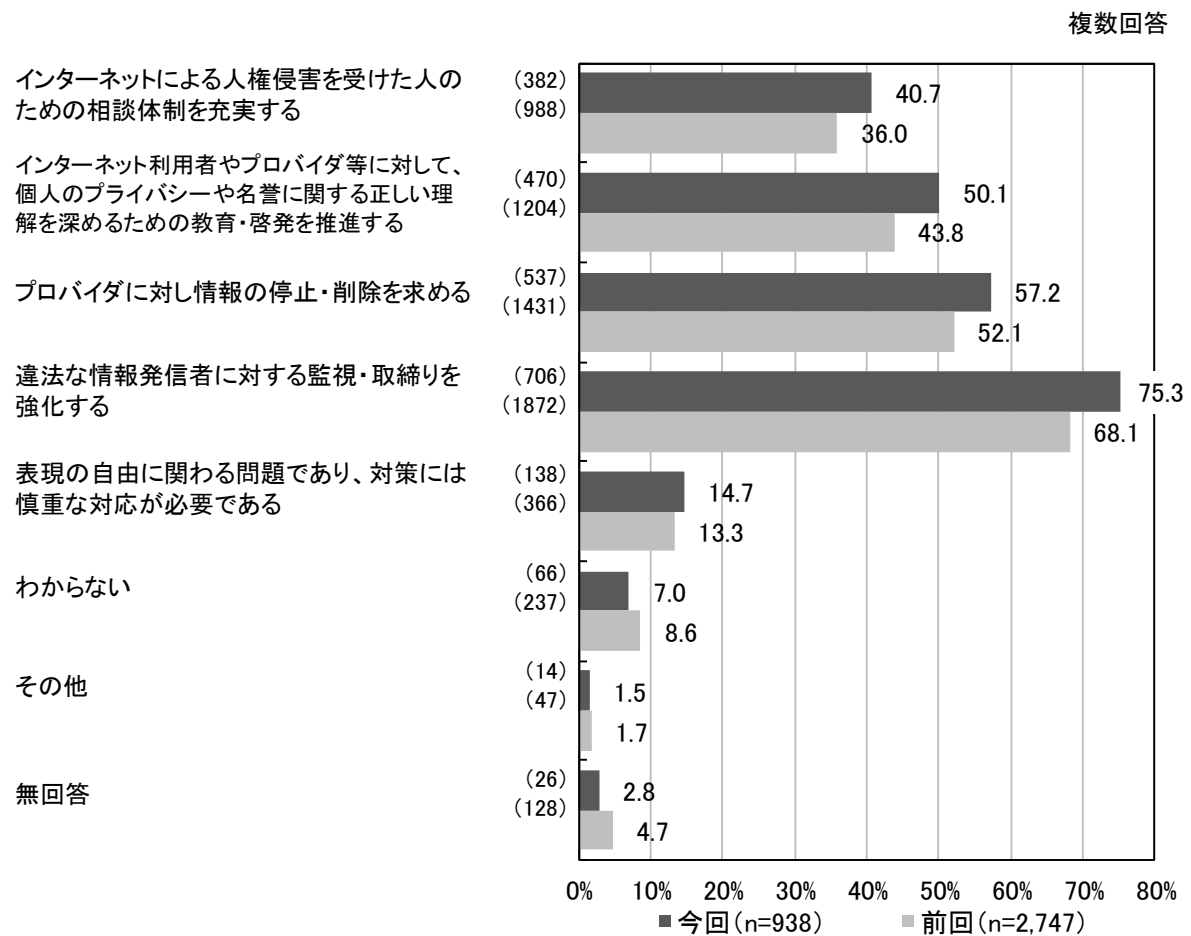
年齢別で見ると、すべての年代で「他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること」が最も高く、特に18～29歳で87.1%と高くなっている。また、60歳以上で「出会い系サイト、SNS等などが犯罪を誘発する場となっていること」が50%前後となっており、18～39歳、50～59歳で「個人情報が流出していること」が60%台と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること	87.1%	76.8%	82.1%	82.4%	78.7%	63.0%
差別を助長する表現を掲載すること	30.6%	29.6%	25.1%	28.5%	23.9%	20.5%
出会い系サイト、SNS等などが犯罪を誘発する場となっていること	28.2%	40.8%	41.5%	36.4%	52.3%	49.5%
捜査対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること	7.1%	13.6%	13.5%	13.3%	10.3%	10.5%
わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載すること	16.5%	17.6%	24.6%	21.2%	20.0%	23.5%
個人情報が流出していること	63.5%	60.8%	53.1%	60.6%	46.5%	41.0%
インターネットを利用した悪徳商法の被害が起こっていること	38.8%	25.6%	33.3%	34.5%	34.8%	27.5%
わからない	2.4%	1.6%	2.4%	1.2%	6.5%	10.0%
その他	0.0%	1.6%	1.4%	0.0%	0.6%	1.5%
無回答	0.0%	0.8%	1.0%	1.2%	1.3%	7.0%

**問 33 インターネット上の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。**

「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が75.3%で最も高く、次いで「プロバイダに対し情報の停止・削除を求める」が57.2%、「インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する」が50.1%と続いている。

前回調査と比較すると、「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が7.2ポイント増加、「インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する」が6.3ポイント増加、「プロバイダに対し情報の停止・削除を求める」が5.1ポイント増加している。





## 【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が最も高く、特に18～29歳で81.2%と高くなっている。また、18～29歳で「インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する」が60%、18～39歳で「表現の自由に関わる問題であり、対策には慎重な対応が必要である」が20%台と他の年代に比べて高くなっている。

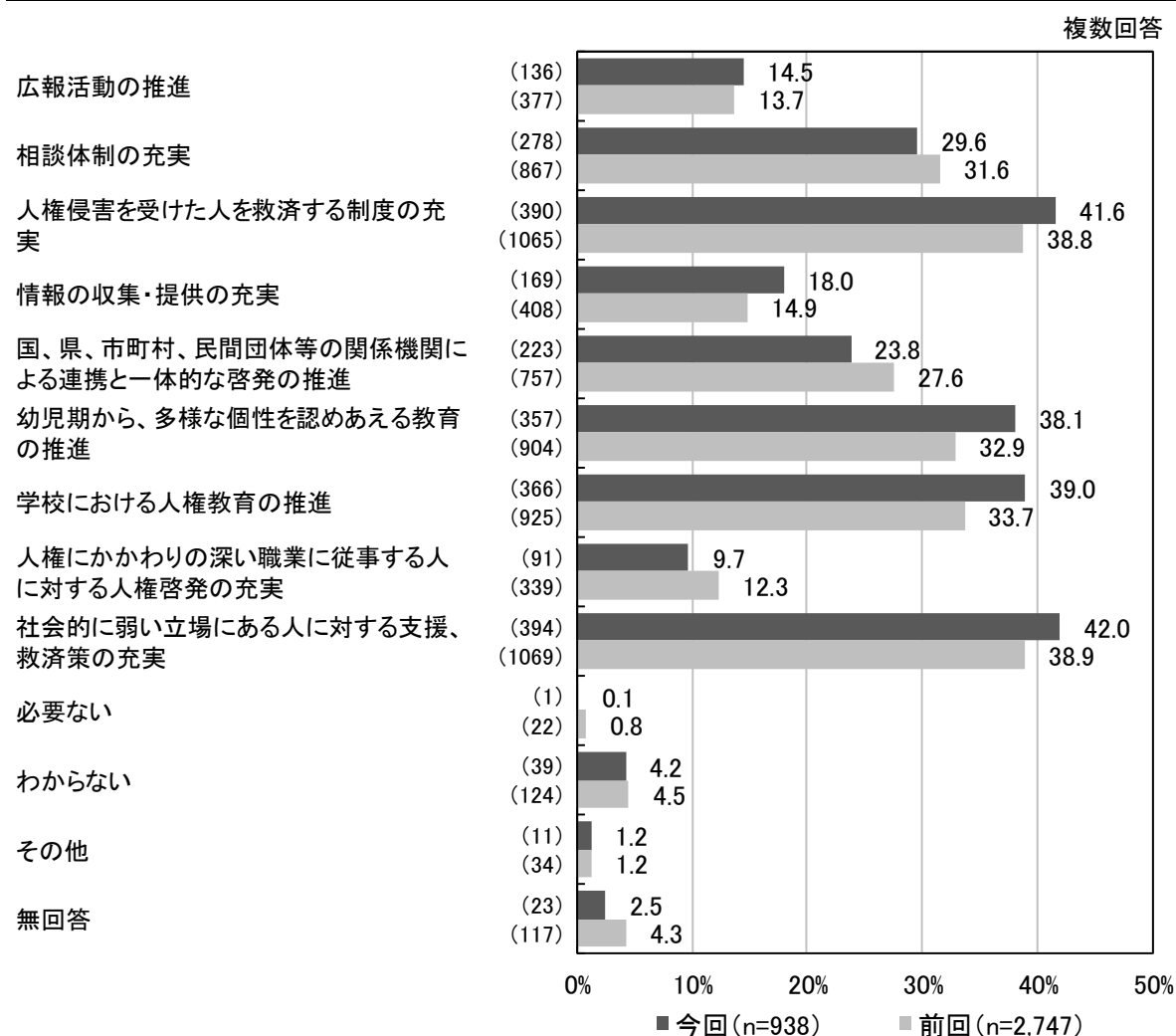
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する	35.3%	32.8%	42.5%	45.5%	44.5%	39.5%
インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する	60.0%	54.4%	49.3%	47.3%	51.6%	45.0%
プロバイダに対し情報の停止・削除を求める	55.3%	55.2%	61.4%	64.8%	58.7%	47.5%
違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する	81.2%	72.8%	76.8%	78.8%	75.5%	69.5%
表現の自由に関わる問題であり、対策には慎重な対応が必要である	21.2%	20.8%	16.9%	10.3%	11.0%	12.5%
わからない	3.5%	4.8%	2.9%	5.5%	7.1%	15.5%
その他	0.0%	3.2%	1.9%	0.6%	1.3%	1.5%
無回答	0.0%	0.8%	0.5%	1.2%	2.6%	9.0%

## 9. 人権問題への取組について

問 34 今後、市町が人権問題の解決に向けて、取り組むべきことについて、あなたのお考えに近いものはどれですか。次の中から3つお選びください。

「社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策の充実」が42.0%で最も高く、次いで「人権侵害を受けた人を救済する制度の充実」が41.6%、「学校における人権教育の推進」が39.0%と続いている。

前回調査と比較すると、「学校における人権教育の推進」が5.3ポイント増加、「幼児期から、多様な個性を認めあえる教育の推進」が5.2ポイント増加している。



※「相談体制の充実」の選択肢は、前回は「相談機能の充実」となっている。

## 【年齢別】

年齢別で見ると、18～29歳と40～49歳で「学校における人権教育の推進」、30～39歳で「幼児期から、多様な個性を認めあえる教育の推進」、50～69歳で「人権侵害を受けた人を救済する制度の充実」、70歳以上で「社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策の充実」がそれぞれ最も高くなっている。また、70歳以上で「広報活動の推進」が20%台と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
広報活動の推進	8.2%	12.0%	9.7%	14.5%	14.2%	24.0%
相談体制の充実	21.2%	25.6%	28.5%	35.8%	31.6%	30.0%
人権侵害を受けた人を救済する制度の充実	40.0%	36.8%	41.1%	47.3%	46.5%	37.5%
情報の収集・提供の充実	27.1%	21.6%	20.3%	16.4%	19.4%	10.0%
国、県、市町村、民間団体等の関係機関による連携と一体的な啓発の推進	27.1%	16.0%	20.8%	21.8%	27.7%	28.5%
幼児期から、多様な個性を認めあえる教育の推進	41.2%	52.0%	41.5%	33.9%	34.8%	30.0%
学校における人権教育の推進	50.6%	39.2%	45.9%	36.4%	33.5%	33.5%
人権にかかわりの深い職業に従事する人に対する人権啓発の充実	7.1%	11.2%	8.2%	10.3%	11.6%	9.5%
社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策の充実	45.9%	40.0%	43.5%	38.8%	38.7%	45.5%
必要ない	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	3.5%	1.6%	2.4%	4.8%	7.1%	5.0%
その他	1.2%	3.2%	1.0%	0.6%	0.6%	1.0%
無回答	0.0%	2.4%	1.4%	0.6%	1.9%	6.5%

## 10. 自由記述

調査票の最後に、【自由記述欄】を設け、人権問題について考えておられることを、ご自由にお書きください、としたところ、延べ275件の回答をいただきました。

以下にカテゴリーごとに抜粋した意見を掲載させていただきます。

なお、ご意見の内容については、趣旨を損なわないよう注意して一部要約したものもあります。

### 1. 人権全般に関する意見(151件)

内容	年齢
1人1人が弱者に対して心豊かな気持ちをもてたらいいと思います。	18～29歳
一般の方の人権理解を深めるのは勿論のことだと思いますが、それ以前に政治家の方が、人権について真摯になって考え、具体的にどのような社会を創っていくべきかを考えるべきだと思います。又、一般の方も、もし自分が差別を受けている立場になったらどう思うか、ということが考えられる人が増えれば、一人ひとりが住みやすい地域になるのではないのでしょうか。綺麗ごとになってしまいますが、相手の気持ちを考えられる、心に余裕を持てる社会になって欲しいです。	18～29歳
新しくできた法律について知らないことが多く、無知であるというのも差別を助長するのかもしれないと感じました。	30～39歳
犯罪者の人権を守りすぎている。また、取り締まりきれず、悪事を行った者が野放しになっている。警察による、取り締まりの強化と、性犯罪、若年者への犯罪歴など、再犯性の高いものに関して、把握と見守りを強化できないかと常々感じている。	30～39歳
人権侵害をしているときは、それを人権侵害だと思ってやっている人はあまりおらず、その人の「正義」や自分のせまい固定されたものの見方を守るために人権侵害をしていることが多いように思う。(高齢者や子どもに対する犯罪を除く。)なので、人権問題はいじめ問題と同様、完全に解決することはないと思う。だからこそ、人権侵害を受けた人に対し支援を広く行い、人権侵害を受けた後のその後の生活を前向きに立て直せる社会を作っていければいいと思っている。	30～39歳
パワーハラスメントについてはよく聞くが、部下から上司へのハラスメントもあるという事実を、広報推進してほしい。	40～49歳
普通に生活している人がいわれのない差別を受けるようなことがないような世の中になればいいと思います。資本主義において経済的平等はありえないと思いますが、人権という点においては、すべての人が平等になればと思います。	40～49歳

内容	年齢
すべての人権問題に共通している原因は、自分とは立場の違った人を思いやることができない「想像力の欠如」だと思う。各人権問題に対する個別の対策も大切だが、それ以上に、個人の立場や考え方を尊重するような社会を実現することが重要なのではないか。そのために、学校教育での人権に関する内容の充実だけでなく、我々大人が率先して意識改革をしていかないといけないと思う。	40～49 歳
今まで自分にはかかわってこない問題でした。このアンケートを通じて少し考えさせられました。世の中から人権問題や暴力が早くなくなって欲しいです。	40～49 歳
社会的に弱い人を保護することは重要だと思いますが、一部にはされてあたりまえで守られて当然だといった考えをする方もいます。様々な形で話し合い交流を持ち、お互いを尊重し合える社会を作り子供達が幸せな家庭を作り、不安のない老後を迎えられる社会になることを望んでいます。	50～59 歳
社会の絆が弱まっているように感じる昨今、自分もふくめ人には人権意識にどれほど関心を持っているのでしょうか。難しい問題だと思いました。町政の推進に期待しています。	70 歳以上

## 2. 女性に関する意見(11件)

内容	年齢
「男は仕事、女は家庭」という考えが問題だという認識が広がりつつあるとは感じるが、その解決先が「男は仕事、女も仕事」となっていることに違和感を覚えます。男女ともに多様な生き方ができるような方法は無いのだろうかとよく考えます。	18～29 歳
女性が子育てするのは当然で、男性が子育てに参加すると「イクメン」。女性が出産・子育てを経て、キャリアアップを目指すには、あまりにも犠牲が大きいです。男性が育休を取らなければペナルティを課すなどしなければ、いつまで経っても男性の意識は変わらない。	40～49 歳
女性だけでなく男性の人権についても再考が必要と考える。	40～49 歳
女性はほぼ全員が生活の中で差別を受けています。主婦という名のもと、それが許されてしまっている社会、家父長制度、つまりは主の苗字に入るというところから家庭が成り立っている風潮、これが問題なのです。	50～59 歳
昔に比べると結婚しても共働きがすごく増えました。政府は子供を産め！在宅介護をしろといいますがそれは女性ばかりに押しつけているように思います。出産以外、男女関係なく推進すべきです。	60～69 歳

### 3. 子どもに関する意見(26件)

内容	年齢
学生のいじめ問題について、教師がもっと介入すべきであると感じる。いじめをした張本人に対する停学等の処分を設ける。むやみにインターネットやSNSに個人情報や顔写真等を投稿しないように教育する。それでも投稿する時は、その重大性やリスク等をレクチャーする。	18~29歳
子連れに対してあたたかい社会になることを願います。	30~39歳
次世代を担う子どもの問題について、予算を増やす取り組みを行ってほしい。共働きが当り前の現在。子育てと仕事の両立が当たり前になるように、ニーズに合った行政サービス（保育事業など）を充実してほしい。	30~39歳
子どもについては、近年の若者の自殺率増加を官民一体となって食い止めてほしい。子どもは視野が狭いうえ、スマートフォン普及により偏った情報しか入手しない傾向から短絡的な結論に至りやすいところ、学校や市の援助により、手軽かつ手広く相談する方法があることを気づかせてもらいたい。	30~39歳
国連が日本の子どもの権利が守られているかどうか、最近調査に来た結果、子供たちが学校教育において、非常にストレスフルな環境に置かれていることを指摘され、そして改善を求められたと。学力だけにとらわれず、自己表現ができて生きる力を身に付けていけるような環境を子供と共に整えてほしいです。	60~69歳
近頃、子供たちの体罰死をテレビなどで知った時、心が震えます。子供は一人では何も出来ません。そんな子供たちを早急に助けて欲しい。	60~69歳
児童相談所と警察の連携をもっと強固にした方がよいと思う。児童を虐待する親に対しては、相談所の職員も怖いと思うので警察の介入は絶対に必要だと思う。	70歳以上

### 4. 高齢者に関する意見(5件)

内容	年齢
悪徳商法や振り込め詐欺にあう高齢者の人を助けるためのよい方法はないでしょうか。詐欺の電話を自動的にブロックできる電話とかがあるのなら設置してほしい。相談が24時間できるようにしてほしい。	50~59歳
これからの日本は超高齢化社会となっていく。高齢者が“生きがい”を持って生き生きと“元気”に前向きな気持ちに暮らしていけるように、“世代間交流”の機会、場所があったら良いと思う。それによって“子供”達の感受性や思いやりの気持ちが育まれたり、親世代の心のゆとりが生まれたりする相乗効果があると思う。	60~69歳
ネット社会、キャッシュレスとかカード払いとか、何かと手続きが複雑に	60~69歳

内容	年齢
なりすぎて高齢者とか障がいのある人々には、暮らしにくい世の中になっていくのが大変。	
高齢者の行動半径が狭くならない様に、交通機関を充実させて、充実した生活ができる高齢者の便利の保障をお願いしたいです。	60~69 歳

## 5. 障害(がい)者に関する意見(5件)

内容	年齢
障害(がい)を抱えた家族がいます。車での移動がほとんどですが、電車で出かける時、とても疲れます。駅のホームにエレベーターも少なく、乗車位置を事前に調べておかないと、ホームでエレベーター探しをしなくてははいけません。悪いことをしていないはずなのに、肩身が狭く、「すみません」を言い続けます。莫大な費用がかかるので改善は無理だろうと諦めていますが、ユニバーサルデザインを唱えるのなら、車いすで一週間過ごしてみれば、優先事項が見えてくるかと思います。不便だらけで驚きます。	30~39 歳
家族に障害(がい)者が居ますが、現在の障害(がい)者の高齢化について考えてほしい。老人や子どもへのサービスは充実してきていますが、障害(がい)者の親亡き後の行き場が少な過ぎます。老人ホームはできても障害(がい)者の施設は少ない為、他県に(遠くても)入るしかありません。障害(がい)者の親は皆、不安を抱えています。	50~59 歳
障害(がい)者の方をあたたく見守る教育を小学生くらいからしてほしいと思います。	70 歳以上

## 6. 同和問題に関する意見(16件)

内容	年齢
同和問題。20歳を過ぎるまで存在を知らず、知らないからこそ差別をするなどの発想もなかった。周囲から中途半端な形で情報が入ることで同和問題の存在を知りました。同和問題の教育を行うことは、次の世代に同和問題の事を逆に意識させることとなり、差別を次の世代へと引き継ぐこととなるので、同和教育は効果がない。むしろ同和教育をしないことが、差別解消につながると考えています。	30~39 歳
同和問題についてだが、埼玉県外で生まれ育った私は、同和問題に関し一切学校で触れることがなく、大学で出会った友人から初めて聞いた。教育がなかったことで、今まで偏見を持ったことはなかったので、子供の頃からの啓発活動や教育が必ずしも必要ではなく、逆に防げる場合もあるのではないかとも考える。	50~59 歳

内容	年齢
このアンケートが来るまで、同和という言葉が久しぶりに聞いたような気がします。今でもこの問題がある事にびっくりです。同和地区も知らないし、どなたが同和の人かも知りません。このようなアンケートに答える事が人権侵害の様な気がします。	50～59 歳
人権に関する法律ができた事ははっきり言ってわかりませんでした。40年以上生きていのに同和問題という言葉が初めて知りました。多分私だけではなくほとんどの人が知らないような気がします。もっと知ってもらうためには目につく場所やよく利用するサイト等に広告を載せたりポスターやフリーペーパー等に掲載する事も大切だと思います。一番問題なのは、差別している人がそれを差別と思わないで行動している事だと思います。育った環境はみんな違うので一概には言えませんが一人一人が自覚する事が大切だと思います。	50～59 歳
同和問題は、現在、それほどないのではないかと考えていたので、逆に、このアンケートで答えているうちに、やはり、いまだに根強く残っていることを再認識しました。個人を、相手を、尊重していく教育の大切さを強く感じています。	60～69 歳

## 7. 外国人に関する人権に関する意見(10 件)

内容	年齢
私の街では特に外国人の人口が増えているようですし、お互いの人権を尊重しながら共に生きる社会が実現出来れば良い事だなと思います。	30～39 歳
外国人の人権については、問題を感じている。例えば、街中の英語表記が少ない。子どもたちが英語を身近な言語として受け入れ理解するためにも日本語・英語2言語での表記にしてほしい。もちろん外国人が生活しやすい街にもつながる。	30～39 歳
人権が守られることは大前提だが、守られる側の間人も(多少の)努力をすべき点があると思う。日本に居住しているのに「外国人だから」と、外国人であることを主張して日本の文化、習慣になじむ努力をしない人もいる。異文化に溶け込む努力を相手もすべき。	30～39 歳
外国人の人権が守られていない。弱い立場にある外国人に支援・救済することは、安心・安全な社会にもつながっていくので、早急に改善の施策に取り組んでほしい。	50～59 歳



## 8. インターネットによる人権侵害に関する意見(10件)

内容	年齢
間違った正義感で他人の個人情報を平気でSNSに投稿する人物が少なからず存在する。そういう人物には刑事罰が与えられるのはもちろんのことだが、それ以前に報道が連日のように、まだ見つかっていない、捕まっていない等と報道するから余計に躍起になってしまったのだと考える。報道も少しは抑えてするべきだったのだろう。	18~29歳
SNSは便利だが子供が安易に使用することによって事件も増え、それによって不登校や自殺者が増えている。他人からの視線を気にしすぎて心の弱い人が増えている。「表現の自由」とは言うものの「モラル」のない人が多いのも事実でそれによって人を傷つけている事もちゃんと学ぶべき。親世代もSNSに左右される人が多いが、それを学ぶところがないのも問題。	30~39歳
閉鎖的な環境が偏見を生みやすいと思う。インターネット・SNSなどでも多くヘイト的な考えを平気で述べる輩が多く、1人1人の考え方を変えるには、法律でこのように決まっていることは広めていくべきで良いことはもっと広めるべきと思いました。ひとりでも悲しい思いをする方を救いたいです。	40~49歳
インターネットにおける犯罪者や外国人への誹謗中傷がひどすぎる。表現の自由と言っているが、自由であっても責任が伴うことをネット利用者がもっと強く認識するべき。	50~59歳
インターネットの普及によって人権侵害が安易になり多様化している。今の法の取締りでは限界がある。	50~59歳

## 9. 人権教育に関する意見(41件)

内容	年齢
考える場が少ないのもっと多くしても良いと思う。小さい頃から考えることが大切だと考える。差別意識は親から受けることが多いので、親世代からの意識改善が必要だと思う。	18~29歳
人権問題はとてもむずかしい事項なので、小さい頃からの教育が大切だと思います。時代の背景も踏まえ、皆に注意喚起すべきだと思います。	18~29歳
私が考えていることは、教師の質の向上です。私が子どもの頃、教師が差別発言をしていたという記憶があります。現状、認識されている差別を無くすには、長期的なビジョンが必要になると考えられます。教育実習また研修で、口酸っぱく指導すべき事柄かと存じます。	30~39歳
学校教育では、人権メッセージの作成や人権作文等様々な機会を通して人権について考えていますが、人権教育が充分に行われた上で活動が進められているとはあまり思えません。子どもたちへの教育も、これからの社会	30~39歳

内容	年齢
<p>にとって必要ですが、まずは今の大人が人権問題について知っていくこと、理解を深めていくこと、そして自分事として捉えられるようになることが重要と思います。そのために何ができるか考え行動を起こしていければ良いです。</p>	
<p>一人一人の心を変えていけるように思いやりの大切さを育てていくしかない</p>	40～49 歳
<p>人権問題に対する知識や法律などが一般人に深く認識、認知されていない感じがする。まずは人権問題を知ることから始めるべきだと感じます。</p>	60～69 歳
<p>人権問題は根深いものがあります。幼児期からの人権教育が必要。人権教育に従事する職業の人口が少なすぎます。</p>	70 歳以上
<p>差別のない国になってほしいと思います。 そのためにも、道徳教育は必要だと思います。とくに小・中学生には、人の事を思いやる気持ちを人間性を育てるために。</p>	70 歳以上

## 4. 人権意識調査票

---

※該当する選択肢の番号に○をつけてください。

あなた自身のことについておたずねします。

問1 あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。

- 1 18～29歳
- 2 30～39歳
- 3 40～49歳
- 4 50～59歳
- 5 60～69歳
- 6 70歳以上

「人権」全般についておたずねします。

問2 今の日本は、基本的人権が尊重されている社会であると思いますか。次の中から1つお選びください。

- 1 そう思う
- 2 どちらともいえない
- 3 そうは思わない
- 4 わからない

問3 国民一人ひとりの人権意識は、以前に比べて高くなっていると思いますか。次の中から1つお選びください。

- 1 そう思う
- 2 どちらともいえない
- 3 そうは思わない
- 4 わからない

問4 「近ごろ、人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた」という意見がありますが、あなたはこの意見についてどう思いますか。次の中から1つお選びください。

- 1 そう思う
- 2 どちらともいえない
- 3 そうは思わない
- 4 わからない



(問7で答えた方におたずねします。)

問8 その時、どうされましたか。次の中から該当するものすべてお選びください。

- 1 友達、同僚、先輩、教師、上司に相談した
- 2 家族、親戚に相談した
- 3 警察に相談した
- 4 弁護士に相談した
- 5 公共機関(県、市町村、法務局、人権擁護委員や人権相談)に相談した
- 6 民間団体に相談した
- 7 相手に抗議するなど自分で解決した
- 8 黙って我慢した
- 9 忘れた・わからない
- 10 その他 ( )

**女性に関する人権についておたずねします。**

問9 女性に関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 男は仕事、女は家庭など、男女の固定的な役割分担意識があること
- 2 昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえない、妊娠、出産等を理由に不利益な扱いを受ける(マタニティ・ハラスメント)など、職場における待遇が違うこと
- 3 育児、家事、介護等を男女が共同で担うことができる社会システムが整備されていないこと
- 4 夫やパートナーから暴力をふるわれること(ドメスティック・バイオレンス)
- 5 職場等で性的嫌がらせをされること(セクシュアル・ハラスメント)
- 6 売春・買春
- 7 女性のヌードがアダルトサイトやビデオ、DVD、雑誌などにおいて商品化されていること
- 8 女性だけが「奥様」、「婦人」、「未亡人」と言われること
- 9 わからない
- 10 その他 ( )

問10 女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 女性のための各種相談体制を充実する
- 2 女性の人権を守るための啓発活動を推進する
- 3 男女平等や性についての教育を充実する
- 4 女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会、ワーク・ライフ・バランスを推進する環境を充実する
- 5 議員、企業役員や行政の審議会等への女性の参画を促進する
- 6 女性が暴力等の被害から避難するための「シェルター・緊急待避所」を整備する
- 7 女性が被害者になる犯罪の取締りを強化する
- 8 相談機関などが暴力を受けた被害者の意思や気持ちに配慮した対応をする
- 9 捜査や裁判で、女性の担当者を増やし、被害女性が届け出しやすいようにする
- 10 テレビ、映画、新聞、雑誌、インターネットなどのメディアの倫理規程を強化する
- 11 わからない
- 12 その他 ( )

**子どもに関する人権についておたずねします。**

問11 子どもに関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 いうことを聞かない子どもに保護者がしつけのつもりで体罰を加えること
- 2 保護者が子どもに対して身体的、心理的に虐待すること
- 3 子ども同士が「暴力」、「仲間はずれ」、「無視」などのいじめをすること
- 4 いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする
- 5 学校や就職先の選択等について大人が子どもの意思を尊重しないこと
- 6 教師が子どもに体罰を加えること
- 7 児童買春・児童ポルノ等
- 8 わからない
- 9 その他 ( )

問12 子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 子どものための各種相談体制を充実する
- 2 子どもの人権を守るための啓発活動を推進する
- 3 体罰禁止を徹底する
- 4 学力偏重の入試制度のあり方を改める
- 5 教師の人間性、資質を高める
- 6 大人が他人に対する思いやりなどを教える（善悪や道德等）
- 7 大人が子どもの個性を尊重する
- 8 わからない
- 9 その他（ )

**高齢者に関する人権についておたずねします。**

問13 高齢者に関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 働ける能力を発揮する機会がないこと
- 2 悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと
- 3 病院での看護や福祉施設での対応が十分でないこと
- 4 高齢者を邪魔者扱いし、高齢者の意見や行動を尊重しないこと
- 5 介護制度が十分でないこと
- 6 情報がひとり暮らしの高齢者に十分につたわらないこと
- 7 家族が高齢者の世話を避けること
- 8 道路の段差解消、エレベーターの設置その他の高齢者が暮らしやすい街づくりや住宅づくりが進んでいないこと
- 9 わからない
- 10 その他（ )

問14 高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 高齢者のための各種相談体制を充実する
- 2 高齢者を思いやり、人権を守るための啓発活動を推進する
- 3 高齢者が自立し、生活しやすい環境を整える
- 4 病院での看護や福祉施設での対応を改善する
- 5 看護・介護に関する情報を細かく広報する
- 6 高齢者の就職機会を増やす
- 7 高齢者への犯罪に対して、取り締まりを強化する
- 8 高齢者と他の世代との交流を進める
- 9 成年後見制度(\*)など、高齢者の人権と財産を守るための制度の利用を促進する
- 10 高齢者のための社交場をつくる
- 11 わからない
- 12 その他 ( )

(\*)成年後見制度とは、判断能力が不十分な人に対して、裁判所が選んだ後見人が財務管理や契約などの法律、生活面を支える制度

### 障害(がい)者に関する人権についておたずねします。

問15 障害(がい)者に関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 障害(がい)または障害(がい)者についての理解が十分でないこと
- 2 就職活動や職場において不利な扱いを受けること
- 3 施設サービスが十分でないこと
- 4 在宅サービスが十分でないこと
- 5 病院や施設で本人の意思に反して自由を制限したりすること
- 6 知的障害(がい)者、精神障害(がい)者等で判断能力が十分でない者に財産管理等経済生活をめぐる権利侵害があること
- 7 道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障があること
- 8 スポーツ、レクリエーション、文化・芸術活動への参加の機会が少ないこと
- 9 結婚の際、周囲から反対を受けること
- 10 わからない
- 11 その他 ( )





同和問題についておたずねします。

問18 あなたは、同和問題について知っていますか。次の中から1つお選びください。

- 1 言葉も内容も知っている
- 2 言葉は知っている
- 3 知らない

問19 あなたが同和問題について初めて知ったのは、いつ頃ですか。次の中から1つお選びください。

- 1 6歳まで
- 2 7歳～12歳まで（小学生）
- 3 13歳～15歳まで（中学生）
- 4 16歳～18歳まで（高校生）
- 5 19歳～20歳未満
- 6 20歳以上
- 7 はっきり覚えていない

問20 あなたが同和問題について初めて知ったのは、誰（なに）からですか。次の中から1つお選びください。

- 1 家族（祖父母、父母、兄弟姉妹など）
- 2 親戚
- 3 近所の人
- 4 職場の人
- 5 友人
- 6 学校の授業、先生
- 7 テレビ、ラジオ、新聞、本など
- 8 人権に関する集会や研修会
- 9 県や市町の広報紙や冊子
- 10 はっきり覚えていない
- 11 その他（ )

問21 あなたは同和問題の起こりについて、どのように受けとめていますか。次の中から1つお選びください。

- 1 人種（民族）が違った
- 2 宗教が違った
- 3 職業（仕事）が違った
- 4 生活が貧しかった
- 5 江戸時代の政策によってつくられた
- 6 わからない
- 7 その他（ )

問22 同和問題に関する事柄で、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 就職において不利な扱いを受けること
- 2 結婚の際、周囲から反対を受けること
- 3 日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること
- 4 職場で不利な扱いや差別的な待遇を受けること
- 5 学校の中で友だちから仲間はずれやいじめなどを受けること
- 6 インターネット上に差別を助長する表現が掲載されること
- 7 わからない
- 8 その他 ( )

問23 あなたは、住宅や生活環境を選ぶ際に、同和地区であった場合、避けることがあると思いますか。次の中から1つお選びください。

- 1 まったく気にしない
- 2 どちらかといえば気にしない
- 3 どちらかといえば避ける
- 4 避ける
- 5 わからない

問24 あなたは、結婚や就職時の身元調査について、どのようにお考えですか。次の中から1つお選びください。

- 1 身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う
- 2 よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う
- 3 身元調査をすることは当然のことだと思う
- 4 わからない

問25 あなたのお子さんが同和地区出身の人と結婚しようとした場合、あなたはどのように対応しますか。次の中から1つお選びください。

- 1 同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する
- 2 自分としては反対だが、子の意思が強ければ仕方がない
- 3 自分としては反対しないが、家族や親せきに反対があれば、結婚は認めない
- 4 自分は反対であり、絶対に結婚は認めない
- 5 わからない

問26 あなたが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であるとわかった場合、あなたはどうかされますか。次の中から1つお選びください。

- 1 家族や親戚から反対されても自分の意思を貫いて結婚する
- 2 できるだけ家族や親戚の理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する
- 3 家族や親戚の反対があれば、結婚しない
- 4 絶対に結婚しない
- 5 わからない

問27 あなたは、同和問題を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 同和問題を解決するための啓発広報活動を推進する
- 2 同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する
- 3 同和問題にかかる人権相談、電話相談を充実する
- 4 えせ同和行為(\*)を排除する
- 5 同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる
- 6 インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する
- 7 同和地区のことや差別のことなど口に出さずに、そっとしておく
- 8 わからない
- 9 その他 ( )

(\*) えせ同和行為とは、同和問題を口実として行われる不法、不当な行為や要求

問28 平成28年12月に、「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。あなたは、この法律をご存知ですか。次の中から1つお選びください。

- 1 法律の内容まで知っている
- 2 法律が出来たことは知っている
- 3 法律が出来たことも知らない

#### 「部落差別の解消の推進に関する法律」とは

現在もなお部落差別が存在するとともに、情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じていることを踏まえ、部落差別のない社会を実現することを目的としています。

この法律では、部落差別は許されないものであるとの認識のもと、国や地方公共団体の責務や相談体制の充実、教育及び啓発、部落差別の実態に係る調査などについて規定されています。

**外国人に関する人権についておたずねします。**

**問 29** 日本に居住している外国人に関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 就職活動や職場において不利な扱いを受けること
- 2 年金制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されないこと
- 3 選挙権がないこと
- 4 アパートなどの住宅を容易に借りることができないこと
- 5 習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと
- 6 結婚の際、周囲から反対を受けること
- 7 病院や公共施設に十分な外国語表記がないのでサービスが受けにくいこと
- 8 お店やレストランなどで十分なサービスが受けにくいこと
- 9 いわゆるヘイトスピーチが公然と行われていること
- 10 わからない
- 11 その他 ( )

**問 30** あなたは、日本に居住している外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 外国人のための各種相談体制を充実する
- 2 外国人の人権を守るための啓発活動を推進する
- 3 外国人の就職機会を確保する
- 4 外国人の地方参政権や行政への参画を促進する
- 5 日常生活に必要な情報を外国語により提供する
- 6 外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど国際理解教育を進める
- 7 地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める
- 8 わからない
- 9 その他 ( )

**問31** 平成28年6月に、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」（ヘイトスピーチ解消法）が施行されました。あなたは、この法律をご存知ですか。次の中から1つお選びください。

- 1 法律の内容まで知っている
- 2 法律が出来たことは知っている
- 3 法律が出来たことも知らない

**「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」（ヘイトスピーチ解消法）とは**

近年、日本以外の国・地域の出身者又はその子孫で日本に適法に居住する人（本邦外出身者）を地域社会から排除することを煽動（せんどう）する「不当な差別的言動」が行われていることを踏まえ、こうした本邦外出身者に対する「不当な差別的言動」を解消することを目的としています。

この法律では、本邦外出身者に対する「不当な差別的言動」のない社会の実現のため、国や地方公共団体の責務や教育の充実、相談体制の整備、啓発活動などについて規定されています。

**インターネットによる人権侵害についておたずねします。**

**問 32 インターネットに関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。**

- 1 他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること
- 2 差別を助長する表現を掲載すること
- 3 出会い系サイト、SNS等などが犯罪を誘発する場となっていること
- 4 捜査対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること
- 5 わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載すること
- 6 個人情報流出していること
- 7 インターネットを利用した悪徳商法の被害が起こっていること
- 8 わからない
- 9 その他（ )

**問 33 インターネット上の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。**

- 1 インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する
- 2 インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する
- 3 プロバイダに対し情報の停止・削除を求める
- 4 違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する
- 5 表現の自由に関わる問題であり、対策には慎重な対応が必要である
- 6 わからない
- 7 その他（ )

人権問題への取組についておたずねします。

問 34 今後、市町が人権問題の解決に向けて、取り組むべきことについて、あなたのお考えに近いものはどれですか。次の中から3つお選びください。

- 1 広報活動の推進
- 2 相談体制の充実
- 3 人権侵害を受けた人を救済する制度の充実
- 4 情報の収集・提供の充実
- 5 国、県、市町村、民間団体等の関係機関による連携と一体的な啓発の推進
- 6 幼児期から、多様な個性を認めあえる教育の推進
- 7 学校における人権教育の推進
- 8 人権にかかわりの深い職業に従事する人に対する人権啓発の充実
- 9 社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策の充実
- 10 必要ない
- 11 わからない
- 12 その他 ( )

問 35 【自由記述欄】人権問題について考えておられることを、ご自由にお書きください。


これで調査は終了になります。ご協力ありがとうございました。

本調査票は同封の返信用封筒で、令和元年10月31日（木）までに、郵便ポストにご投函くださいますようお願い申し上げます。

## 人権意識調査報告書

発行年月：令和2年3月

発行：北足立郡市町同和対策推進協議会